



雫石町の観光マスコットキャラクター

「しずくちゃん」。雫石あねっこをモチーフにした、
可愛いキャラクターです。

令和5年(2023 年)

雫石町観光客入込調査報告書



雫石町観光商工課

目 次

I. 調査概要

1 雫石町における観光統計調査の概要	1
(1)調査の目的	
(2)各統計調査種目	
(3)調査期間	
(4)調査方法	
2 調査・本書に関する注意事項	2
(1)調査に関する事項	
(2)本書に関する事項	
3 用語の定義	4
(1)入込調査に関する用語	
(2)社会的要因に関する用語	
4 入込調査ポイント(観光施設)一覧表	7

II. 本編

1 観光レクリエーション客の入込動向	8
2 観光地年別入込状況	14
3 観光地別月別入込状況	18
4 観光資源別入込状況	20
5 利用交通機関の状況	22
6 県外教育旅行客の入込状況	23
7 外国人観光客の入込状況	26
8 2023～2024シーズン・スキー客入込状況	29
9 雫石町観光レクリエーション客入込数の推移	31

I. 調査概要

1 雫石町における観光統計調査の概要

(1) 調査の目的

雫石町内の観光地における観光客の動向等を把握し、効果的な観光振興策を進めるための基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 各統計調査種目

①基本統計

ア. 観光レクリエーション客入込調査

観光レクリエーション客の次の項目について、毎月調査を実施。

- ・ 県内・県外別入込数
- ・ 日帰・宿泊別入込数
- ・ 利用交通機関別入込数

②その他の統計

ア. 外国人観光客入込調査

外国人観光客の入込数について、国別（日帰・宿泊別）に毎月調査を実施。

イ. 教育旅行客入込調査

学校、学習塾、スポーツ合宿など、教育や学習の一環として訪問した教育旅行客の次の項目について、毎月調査を実施。（教育旅行に含まれるものは、修学旅行、林間学校、スキー旅行、スポーツ合宿(大会)など。）

- ・ 都道府県別
- ・ 学校数（数）
- ・ 人員
- ・ 見学・体験等
- ・ 宿泊の有無

ウ. シーズン・スキー客入込調査

冬季の観光振興を図るための基礎資料を得ることを目的に、スキーのシーズンに合わせ、前年の12月からシーズンに該当する年の4月までを期間として、雫石町内3つのスキー場を対象に毎月実施。

(3) 調査期間

令和5年1月1日 ～ 令和5年12月31日

(4) 調査方法

毎月調査については、依頼文書及び調査様式を送付し、様式内に必要事項を記入のうえ、メール、FAX等で担当まで報告。また、毎月の報告期限については依頼文書において照会している。

2 調査・本書に関する注意事項

(1) 調査に関する事項

本調査は、平成 21 年雫石町入込調査報告書まで岩手県の共通基準に基づいた調査により、入込客数の集計を行ない報告書にしていた。それまでに岩手県が行なっていた調査は、従来の全国共通基準に従った方法であったが、その共通基準が平成 22 年に大幅な変更となった。主な変更点としては次のとおりである。

①観光レクリエーション客入込統計の主な変更点（平成 22 年 2 月、岩手県）

項 目	平成 21 年以前の調査基準 [調査名：観光レクリエーション客入込 調査]	平成 22 年以降の調査基準 [調査名：観光地点等入込客数調査]
調査地点	・市町村が定める調査地点	・月 1 回以上の頻度で訪問する人数の割合が 半分未満と判断される地点 ・観光入込客数が適切に把握できる地点 ・ <u>前年の入込客数が年間入込客数 1 万人以上 もしくは前年の特定月の入込客数 5 千人以上 の地点</u>
調査箇所数	124 観光地（754 箇所以上）	約 350 箇所
報告回数	年 4 回（四半期毎）	年 4 回（四半期毎）
公表回数	年 1 回（県観光統計概要として公表）	年 4 回（四半期毎）

これは、全国共通基準に基づき岩手県で行なう調査である。しかし、市町村毎の調査については県で行なう統計調査と統一する必要がない旨の説明があったことから、雫石町で行なう入込客数調査については、以前まで行なっていた調査を一部変更し継続することとした。変更事項については次のとおりである。

②観光レクリエーション客入込統計の主な変更点（雫石町）

項 目	平成 21 年以前の調査基準	平成 22 年以降の調査基準
観光資源	・ 自然系観光資源（温泉以外・温泉） ・ 人文系観光資源（行・祭事） ・ 展示見学教育施設 ・ 野外活動施設（スキー以外・スキー）	・ 左記標記の観光資源（4 つの観光資源） ・ 都市型観光資源 ・ その他観光資源（道の駅等） ※用語の定義を参照
調査地点	・ 観光資源に伴った観光施設	・ 以前までの観光施設 ・ 新たな観光資源により追加した観光施設 道の駅「雫石あねっこ」(売店・レストラン)、 味力レストラン雫(雫石銀河ステーション 内)、農家レストラン「らら」、松ぼっくり
調査箇所数	94 箇所	97 箇所
公表回数	年 2 回（速報版・確定版）	年 2 回（速報版・確定版）
観光資源の追加理由	・ 以前までの調査については、食・グルメ、その他都市型観光（買物等）、道の駅（入浴施設以外）を含めておらず、雫石町内への正確な入込客数を把握できていなかった。そこで、平成 22 年より都市型観光資源、その他観光資源（道の駅等）を追加して、より正確な入込客数を把握することとした。 ・ 都市型観光資源、その他観光資源（道の駅等）は、現在、岩手県が行なっている観光統計基準にあるもので、平成 22 年より新たに追加された観光資源である。この観光資源が追加になったことから、当町の統計調査でも追加することとした。	

（２）本書に関する事項

雫石町観光客入込調査報告書については、本編において平成 22 年以降に行なった調査基準を用いたデータで比較分析を行ない、参考資料で平成 21 年以前の調査基準を用いた平成 22 年までの推移を記載する。

3 用語の定義

本書で使用する主な統計用語の定義は、次に説明しているとおりである。

(出典先：平成 29 年雫石町観光統計調査要領)

(1) 入込調査に関する用語

①【観光レクリエーション客】

居住地が観光地の地域内であるか否か、若しくは、外出距離の遠近にかかわらず、観光レクリエーションの目的で、雫石町内の観光施設、行・祭事、イベントなどを訪問した者をいう。

②【人回】

観光レクリエーション客の入込数の単位であり、令和 5 年 12 月末日において、雫石町内の観光施設、行・祭事、イベントをゲートとしてカウントする延べ人員数をいう。

③【外国人観光客】

観光施設、行・祭事、イベントなどに、観光レクリエーションの目的で訪問した外国人客をいう。

④【県外教育旅行客】

学校、学習塾、スポーツ少年団による合宿など、教育や学習、スポーツの一環として、観光施設、行・祭事、イベントなどを訪問した県外に学校が所在する旅行客をいう。

⑤【自然系観光資源】

雫石町内の山岳、高原、湖沼、特殊地形、植物で、観光的に魅力のあるもの及び温泉をいう。

⑥【人文系観光資源】

雫石町内の神社、仏閣、庭園、町並み、旧街道、歴史的建造物、近代的建造物、史跡、名所（文学碑、銅像、墓、生家など）、行・祭事、イベント、郷土芸能、伝統工芸術、地域風俗、味覚などで、観光的に魅力のあるものをいう。

⑦【展示見学教育施設】

雫石町内の歴史民俗資料館、美術館、産業観光施設等をいう。

⑧【野外活動施設】

雫石町内のハイキングコース、自然歩道、自然散策路、テニスコート、キャンプ場、ゴルフ場、スキー場、観光農林業、観光牧場、レジャーランド、公園、プール等をいう。

⑨【都市型観光資源】

雫石町内の商業施設、地区・商店街、食・グルメ、その他都市型観光（買物・食等）等をいう。

⑩【その他観光資源】

他に分類されない観光地点のことをいう。また、道の駅やパーキングエリア等はここに含める。ただし、単なる休憩機能のみの施設は除くこととする。

⑪【定路線交通機関】

鉄道、定期バスなど、定期的に運行している交通機関をいう。

⑫【その他（交通機関）】

定路線交通機関、貸切バス、自家用車以外の交通機関のことをいう。例としては、レンタカー等がこれに含まれる。

(2) 社会的要因に関する用語

○主な用語

①【新型コロナウイルス(COVID-19)】

2019年12月に中国・武漢市で確認された原因不明の肺炎に端を発する、新型ウイルスによる感染症。変異株発生により感染爆発と沈静化を繰り返しながら、全世界で感染拡大した。2022年に感染の主流となった変異株のオミクロン株は感染力が強い半面、重症化リスクが低いという特性もあり、従来のような行動制限は求められなくなった。2023年の年明け頃は、1日の新規感染者数が過去最高を記録する県が出たものの、1月下旬には本年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを2類から5類へ移行することが決定した。5類移行後は徐々に人の流れも活発になり、お祭りやイベントもコロナ前の規模で開催されるに至った。当町への観光客については、県内客は昨年から微減となったものの、県外客は昨年のおよそ1.2倍に増加し、コロナ前の8割程度まで回復してきた。

一方外国人観光客に関しては、国内の主要空港だけでなく仙台など地方空港への国際定期便の運航が再開され始めた。花巻空港では、本年5月10日にタイガーエア台湾の花巻⇄台湾便がおおよそ3年振りに再開、仙台空港でも1月にエバー航空、3月にはタイガーエア台湾の仙台⇄台湾便が、4月には仙台⇄ソウル便が復活。コロナ禍での海外旅行の制限に対する反動に加えて円安が拍車をかけ、多くの外国人観光客が各地を訪れている一方で、花巻⇄上海便については依然運休したままで、原発処理水の海洋放出に絡む問題の影響も受け、中国人観光客は回復に至っていない。

②【NYT 紙が選ぶ「2023 年に行くべき 52 ヶ所」】

本年1月12日、アメリカの有力紙ニューヨークタイムズ紙が『2023年に行くべき52ヶ所』の中で、盛岡市をロンドンに次ぐ2番目に紹介。東京からのアクセスの良さ、歩いて回れるコンパクトさ、歴史を感じる建造物と近代的な建物が融合した街並みなどが魅力として紹介された。この効果によるものか盛岡を訪れる外国人旅行者が増加しているだけでなく、国内観光客にも改めて注目されるようになった。当町でも、隣接する盛岡市からの観光客の回遊による観光客増に期待がかかる。

③【雫石・冬フェスタ in 小岩井農場】

開催終了となった「いわて雪まつり」の後継として、本年2月4日～12日の9日間開催された新しい冬のイベント。小岩井農場まきば園を会場に、そりやスノーチュービングが楽しめる広場、スノートレインやバナナボート、スノーフォレストツアーなどの体験型アクティビティの他、雪不足への懸念からかまくら食堂は開催されなかったものの、キッチンカーによる地元グルメなど大人も子どもも楽しめるイベントとなった。

④【KOIWA Winter Lights - 銀河農場の夜 2023】

小岩井農場まきば園で開催される冬のイルミネーションイベントで、今年10回目の開催となった。10周年を記念した「10本の光の樹木」や「天の川ウォール」など10個の新しいイルミが登場、お馴染みの「銀河鉄道SL」や「牛乳パックランタン」もさらにスケールアップした。また、今年もヘラルボニーとコラボを行い、印象的なアートキューブも会場を彩った。11月18日から年明け1月8日まで開催。

⑤【ONSEN ガストロノミーウォーキング in 雫石・鶯宿】

「その土地の食、自然、歴史・文化と共に温泉も楽しむ」というウォーキングイベントで、昨年鶯宿温泉周辺を会場に第2回を開催したが、この2回をもって開催終了となった。

○補足用語

①【花巻空港/仙台空港国際定期便運航再開】

花巻空港へは台湾便と上海便が、仙台空港へはタイ便などが定期運航されていたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、2020年2月以降これらの便は全便運休となった。昨年10月以降外国人旅行者に対する入国制限が撤廃されたことで、成田、羽田など国内の主要空港は国際線の運航を再開。定期便再開の流れは地方空港にも広がり、仙台空港でも本年1月18日にエバー航空の台湾便が運航を再開した他、ソウルや中国の北京、大連便が運航を再開したが、タイ便はまだ再開するに至っていない。上海便も運航再開が再々延期され、ようやく12月23日に再開された。また、花巻空港でも本年5月10日にタイガーエア台湾の台湾便が運航再開し、再開後の5月～10月の平均利用率は88.5%と、過去最高のペースとなるなど好調が続いている一方で、上海便は依然運休が続いたままである。

②【夏の猛暑】

地球温暖化に加え、日本近海の海水面温度の上昇や本州付近への太平洋高気圧の張り出しが記録的に強まったことにより、7月から9月にかけて各地で気温が上昇。県内でも7月に釜石市で最高気温37.7℃を観測するなど、気温が上昇した。8月には町内を含む内陸の5つの観測地点で、31日間連続真夏日を記録。町内では35℃以上の猛暑日こそなかったものの、岩泉町では猛暑日が11日記録されるなど、異例づくめの夏となった。さらに9月に入っても真夏日を10日記録。10月も気温が高い傾向は続き、紅葉が例年より1週間から10日ほど遅れ、降雪も少なくなるといった影響も出た。

4 入込調査ポイント（観光施設）一覧表 ※調査にご協力いただいていない施設も含まれています。

小岩井地区	小岩井農場	鶯宿地区	八幡平カントリークラブ
	ヴィラ館々倶楽部		フラワー＆ガーデン森の風
	ペンション イーハトーブ花の郷（閉館）		鶯宿集会所
	ペンション カンタービレ		男助山登山
	B&Bホテルアルカディア（休館中）		しずくいし YU-YU ファーム
	雫石・冬フェスタ（新規）	国見・橋場地区	石塚旅館
長山・網張地区	岩手高原スノーパーク		森山荘
	休暇村岩手網張温泉 本館		道の駅「雫石あねっこ」
	休暇村岩手網張温泉 温泉館		小柳沢砂防公園オートキャンプ場
	網張温泉スキー場		国見山荘（休館）
	網張展望リフト		国見キャンプ場（休場）
	網張温泉キャンプ場		駒ヶ岳登山
	網張ビジターセンター	滝ノ上地区	滝観荘
	あみはりロッヂ		滝峡荘
	ペンション さんりんしゃ		みやま荘（休館中）
	ペンション びつき（休館中）		滝ノ上登山
	ペンション HAIJI	玄武地区	玄武風柳亭（閉館）
	プチホテル クロくまくん（休館中）		ロッヂたちばな
	ペンション ベルクレール		四季の里
	ペンション ドア		温泉ペンション くまさんち
	ペンション フィールドノート（閉館）	西根地区	雫石プリンスホテル
	RV パーク岩手山（ペンションもみじ）		雫石ゴルフ場
	ペンション 山賊		雫石スキー場
	B&B ロックイーグル（休館中）		ペンション シャラ
	民宿 なかがわ		ペンション パオ
	民宿 杉清荘（休館中）		ペンション ビアフィールド（休館中）
	民宿 坂井荘		Soil
	民宿 長助		ロッジ しのむら（閉館）
	コテージ クレソン		民宿 寿（閉館）
	農家レストランらら		民宿 大柳（閉館）
	松ぼっくり		民宿 そで（閉館）
	県営屋内温水プール		民宿 しらかば
	ゆこたんの森		民宿 高見荘
	ありね山荘		民宿 雫石荘
	岩手山登山		民宿 大工
鶯宿地区	長栄館	その他地区	上野旅館
	ホテル加賀助		佐々木旅館
	ホテル偕楽苑		しずく×CAN
	寿広園		ホテル 花の湯（休館中）
	ホテル森の風鶯宿		御所湖広域公園（乗り物広場）
	ニュー鶯山荘（閉館）		御所湖広域公園（ファミリーランド）
	ホテル鶯		御所湖広域公園（町場地区園地）
	清光荘		御所湖川村美術館
	川長		雫石銀河ステーション（売店・レストラン）（閉店）
	鶯泉館		歴史民俗資料館
	かどや旅館		ケツパレランド
	石塚旅館（閉館）		ウォータージャンプ
	鶯宿温泉の宿 赤い風車		雫石川（渓流釣り）
	温泉民宿 あけぼの荘		元祖しずくいし軽トラック市
	温泉民宿 とちない		雫石よしやれ祭
	温泉民宿 小枝		南部よしやれ全国大会
	温泉民宿 栄弥		しずくいし産業まつり
	温泉民宿 けむやま（廃業）		コテージ村まつり
	温泉民宿 川久（休館中）		岩手山ろくファミリーマラソン

Ⅱ．本編

1 観光レクリエーション客の入込動向

(1) 概況

本年令和5年の観光レクリエーション客の入込数は **2,057,745 人回**で、昨年より136,844人回増の107.1%、コロナ前の令和元年との比較では458,587人回減の81.8%となった。本年は新型コロナウイルスの5類移行でこれまでのような行動制限がなくなったことやインバウンドの回復もあり、昨年より入込客数は増加したが、昨年ほどの伸びはなく依然コロナ前までには回復していない。

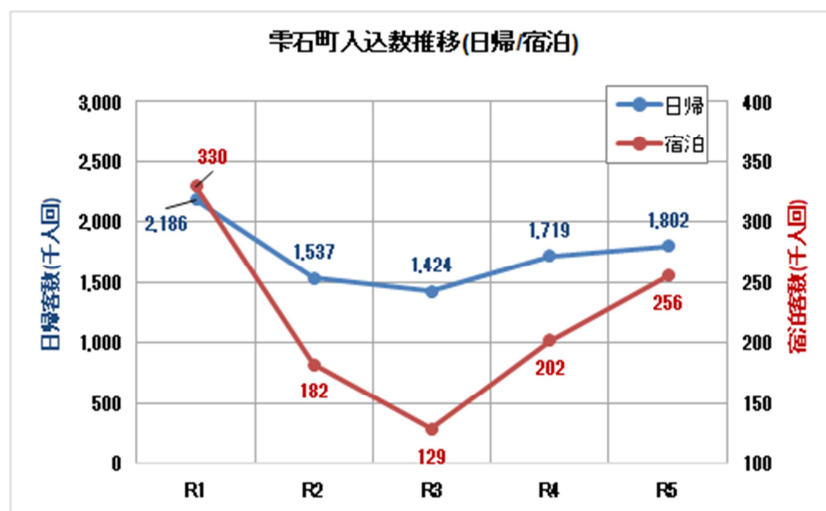
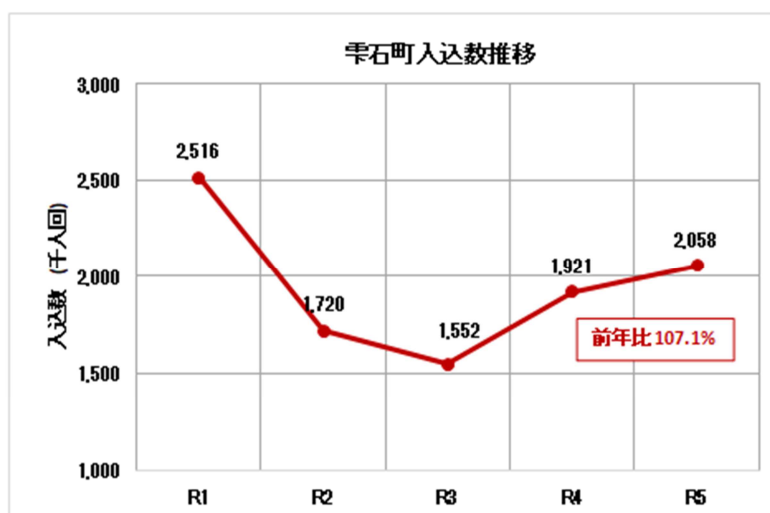
日帰客数は、**1,802,193 人回**で、前年比83,390人回増(104.9%)/R1年比384,285人回減(82.4%)。

宿泊客数は、**255,552 人回**で、前年比53,454人回増(126.4%)/R1年比74,302人回減(77.5%)。

宿泊客は回復基調が続いているが、日帰客では伸びが小さくなっている。

なお、12月末時点で3宿泊施設が新たに閉館・廃業した。

	R1	R2	R3	R4	R5
日帰	2,186,478	1,537,223	1,423,879	1,718,803	1,802,193
宿泊	329,854	182,379	128,561	202,098	255,552
総入込数	2,516,332	1,719,602	1,552,440	1,920,901	2,057,745

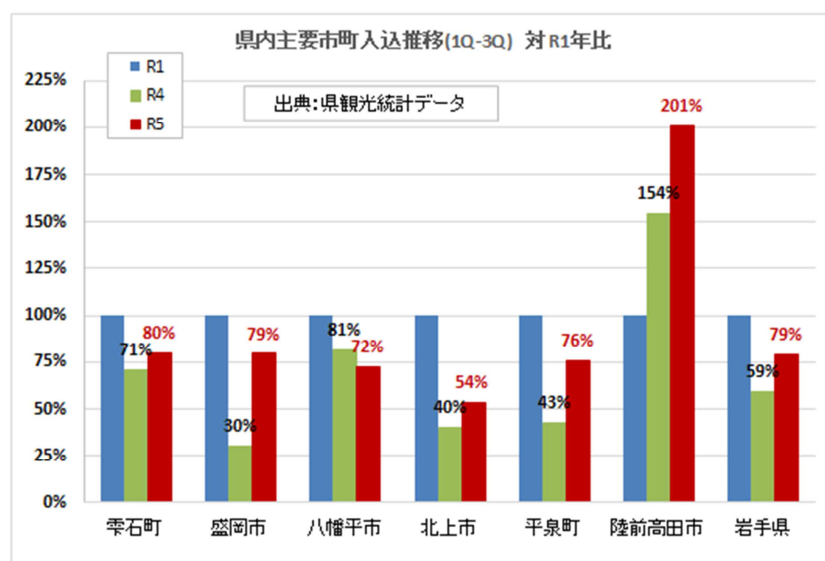


県の観光統計データから、岩手県および県内の主な市町の状況を見てみる。なお、本年のデータについては現在公開されている第3四半期までで、また特定の施設のみ集計対象のため、この報告書で述べる入込客数とは数値が異なる。

県全体の本年第3四半期までの入込客数は18,535,253人回で、同じ第1～第3四半期の同期比では昨年の約134%となっている。本年年初に盛岡市がNYT紙による「2023年に訪れるべき世界の52か所」に選ばれたことで、外国人観光客だけでなく国内観光客の増加にも効果があったとみられるが、盛岡市の入込は昨年同期比では約262%となったもののコロナ前の約80%で、コロナ前を超える増加には至っていない。また、盛岡市周辺の市町では昨年より伸びが鈍化あるいは八幡平市のように減少したところもあり、盛岡市から周辺の市町への波及効果については現時点では不明である。

	入込数（人回）				R4/R1年比	R5 1Q-3Q/R1年比		R5 1Q-3Q/R4年比	
	R1	R3	R4	R5 1Q-3Q		(人回)		(人回)	
雫石町	1,806,804	1,044,924	1,354,432	1,152,092	75.0%	-654,712	63.8%	-202,340	85.1%
盛岡市	3,995,336	1,097,222	1,383,313	2,843,460	34.6%	-1,151,876	71.2%	1,460,147	205.6%
八幡平市	1,903,771	1,406,503	1,570,929	1,072,334	82.5%	-831,437	56.3%	-498,595	68.3%
北上市	1,209,165	370,904	531,172	582,096	43.9%	-627,069	48.1%	50,924	109.6%
平泉町	2,064,542	789,235	976,430	1,143,235	47.3%	-921,307	55.4%	166,805	117.1%
陸前高田市	871,281	863,775	982,913	953,634	112.8%	82,353	109.5%	-29,279	97.0%
岩手県	29,213,467	15,600,557	18,332,530	18,535,253	62.8%	-10,678,214	63.4%	202,723	101.1%

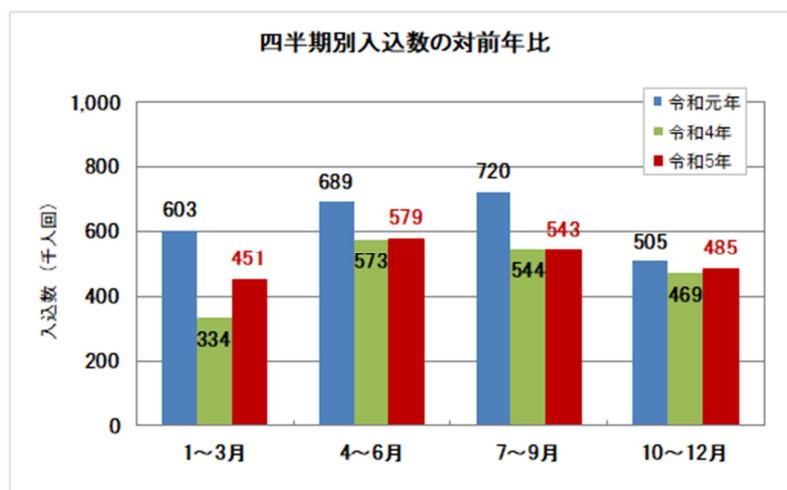
	1-3Q入込数（人回）				R4/R1年比	R5/R1年比		R5/R4年比	
	R1	R3	R4	R5		(人回)		(人回)	
雫石町	1,443,571	740,459	1,017,986	1,152,092	70.5%	-291,479	79.8%	134,106	113.2%
盛岡市	3,579,906	823,456	1,083,546	2,843,460	30.3%	-736,446	79.4%	1,759,914	262.4%
八幡平市	1,480,682	1,022,925	1,206,507	1,072,334	81.5%	-408,348	72.4%	-134,173	88.9%
北上市	1,086,104	265,808	435,458	582,096	40.1%	-504,008	53.6%	146,638	133.7%
平泉町	1,503,913	362,682	644,574	1,143,235	42.9%	-360,678	76.0%	498,661	177.4%
陸前高田市	475,358	621,451	733,416	953,634	154.3%	478,276	200.6%	220,218	130.0%
岩手県	23,391,964	11,103,487	13,853,988	18,535,253	59.2%	-4,856,711	79.2%	4,681,265	133.8%



(2) 詳細

①四半期別

	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	計
令和元年	602,574	689,232	719,570	504,956	2,516,332
令和4年	334,418	573,419	544,122	468,942	1,920,901
令和5年	451,115	578,962	543,124	484,544	2,057,745
前年比	134.9%	101.0%	99.8%	103.3%	107.1%
R1年比	74.9%	84.0%	75.5%	96.0%	81.8%



○1～3月 (単位: 人回)

	1月	2月	3月	1～3月計
令和元年	186,423	269,703	146,448	602,574
令和4年	123,631	106,949	103,838	334,418
令和5年	159,058	146,543	145,514	451,115
前年比	128.7%	137.0%	140.1%	134.9%
前年差	35,427	39,594	41,676	116,697
R1年比	85.3%	54.3%	99.4%	74.9%
R1年差	-27,365	-123,160	-934	-151,459

積雪が十分だったことと、昨年に引き続き行ったスキー場への支援策の効果でスキー場の入込が好調。3月は暖かく融雪は早まったが、ほとんどの地区で来訪者が増え、昨年同時期の約1.3倍に入込が増加した。

○4～6月 (単位: 人回)

	4月	5月	6月	4～6月計
令和元年	193,714	306,429	189,089	689,232
令和4年	164,595	239,237	169,587	573,419
令和5年	176,378	242,676	159,908	578,962
前年比	107.2%	101.4%	94.3%	101.0%
前年差	11,783	3,439	-9,679	5,543
R1年比	91.1%	79.2%	84.6%	84.0%
R1年差	-17,336	-63,753	-29,181	-110,270

桜の開花が例年より2週間ほど早まり、その後週末に雨天が多くなるなどしたことで、第1四半期ほどの増加とはならず。県外客は昨年同月の約1.2～1.7倍に増加したが、県内客は8割～9割ほどに減少。

○7～9 月（単位：人回）

	7月	8月	9月	7～9月計
令和元年	205,444	295,298	218,828	719,570
令和4年	164,746	194,349	185,027	544,122
令和5年	156,569	224,160	162,395	543,124
前年比	95.0%	115.3%	87.8%	99.8%
前年差	-8,177	29,811	-22,632	-998
R1年比	76.2%	75.9%	74.2%	75.5%
R1年差	-48,875	-71,138	-56,433	-176,446

8月は猛暑となったものの好天が続
き入込も増加したが、7月、9月は豪雨
になるなど雨が多く、さらに猛暑の影
響で紅葉が遅れたことで入込が減少。
特に県内客の減少が目立った。

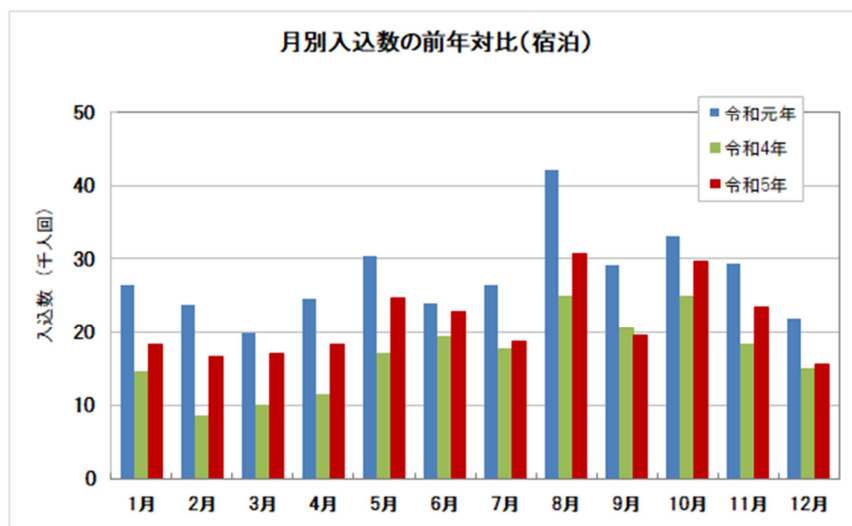
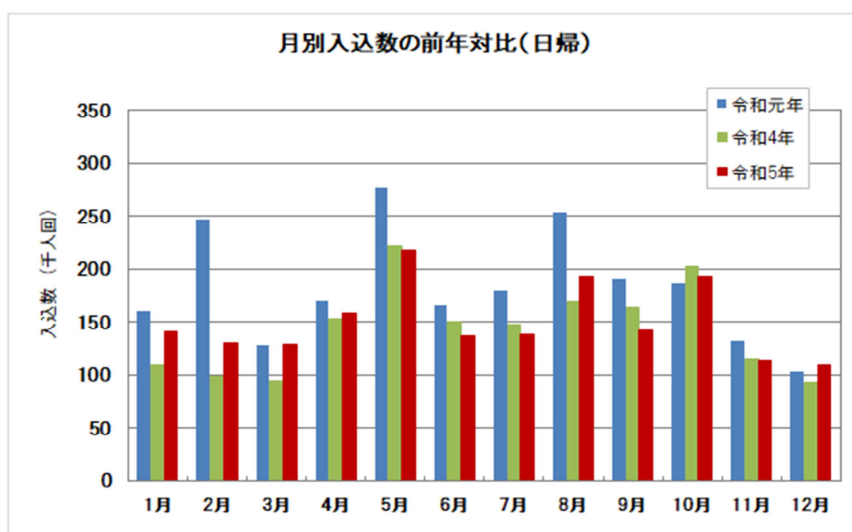
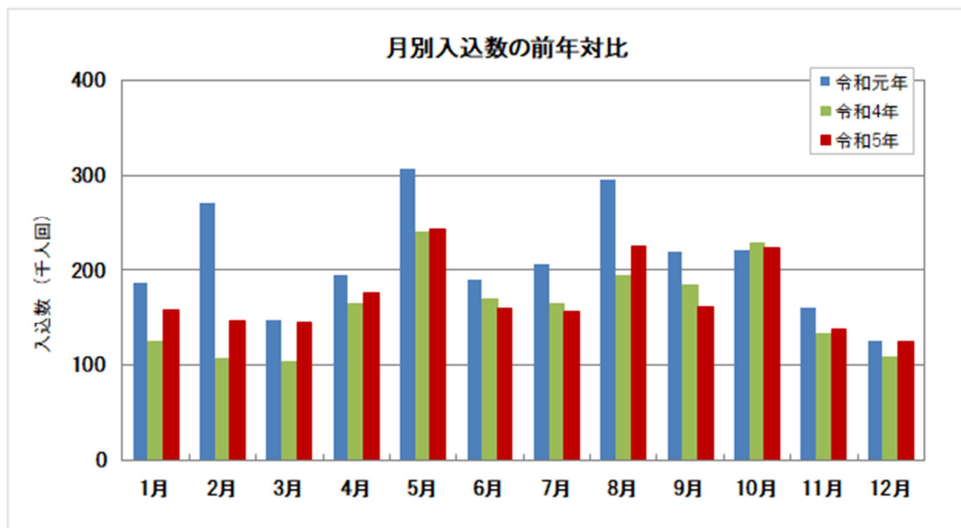
○10～12 月（単位：人回）

	10月	11月	12月	10～12月計
令和元年	219,787	160,192	124,977	504,956
令和4年	227,897	132,513	108,532	468,942
令和5年	223,148	136,598	124,798	484,544
前年比	97.9%	103.1%	115.0%	103.3%
前年差	-4,749	4,085	16,266	15,602
R1年比	101.5%	85.3%	99.9%	96.0%
R1年差	3,361	-23,594	-179	-20,412

10月は紅葉がいまひとつだったこと
もあり、日帰客が昨年の95%ほどに減
少。宿泊客数は1.2倍ほどに増えたが、
月としては減少となった。12月は県外
客が日帰/宿泊共に増加した。特に日帰
客は、昨年のおよそ1.6倍に増加。雪
を求めてスキー場への来場が増えた影
響とも考えられる。

②月別

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
日帰	令和元年	160,124	246,090	126,649	169,130	276,159	165,189	179,142	253,199	189,803	186,858	131,043	103,092	2,186,478
	令和4年	109,064	98,458	93,861	153,043	222,232	150,219	147,151	169,506	164,369	203,091	114,292	93,517	1,718,803
	令和5年	140,759	129,905	128,472	158,150	218,021	137,035	137,791	193,551	142,891	193,396	113,113	109,109	1,802,193
	前年比	129.1%	131.9%	136.9%	103.3%	98.1%	91.2%	93.6%	114.2%	86.9%	95.2%	99.0%	116.7%	104.9%
	前年差	31,695	31,447	34,611	5,107	-4,211	-13,184	-9,360	24,045	-21,478	-9,695	-1,179	15,592	83,390
	R1年比	87.9%	52.8%	101.4%	93.5%	78.9%	83.0%	76.9%	76.4%	75.3%	103.5%	86.3%	105.8%	82.4%
	R1年差	-19,365	-116,185	1,823	-10,980	-58,138	-28,154	-41,351	-59,648	-46,912	6,538	-17,930	6,017	-384,285
宿泊	令和元年	26,299	23,613	19,799	24,584	30,270	23,900	26,302	42,099	29,025	32,929	29,149	21,885	329,854
	令和4年	14,567	8,491	9,977	11,552	17,005	19,368	17,595	24,843	20,658	24,806	18,221	15,015	202,098
	令和5年	18,299	16,638	17,042	18,228	24,655	22,873	18,778	30,609	19,504	29,752	23,485	15,689	255,552
	前年比	125.6%	195.9%	170.8%	157.8%	145.0%	118.1%	106.7%	123.2%	94.4%	119.9%	128.9%	104.5%	126.4%
	前年差	3,732	8,147	7,065	6,676	7,650	3,505	1,183	5,766	-1,154	4,946	5,264	674	53,454
	R1年比	69.6%	70.5%	86.1%	74.1%	81.5%	95.7%	71.4%	72.7%	67.2%	90.4%	80.6%	71.7%	77.5%
	R1年差	-8,000	-6,975	-2,757	-6,356	-5,615	-1,027	-7,524	-11,490	-9,521	-3,177	-5,664	-6,196	-74,302

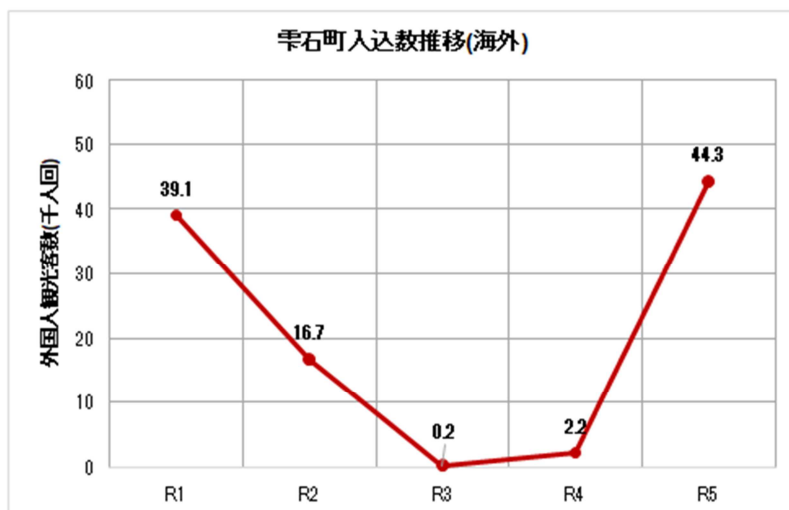
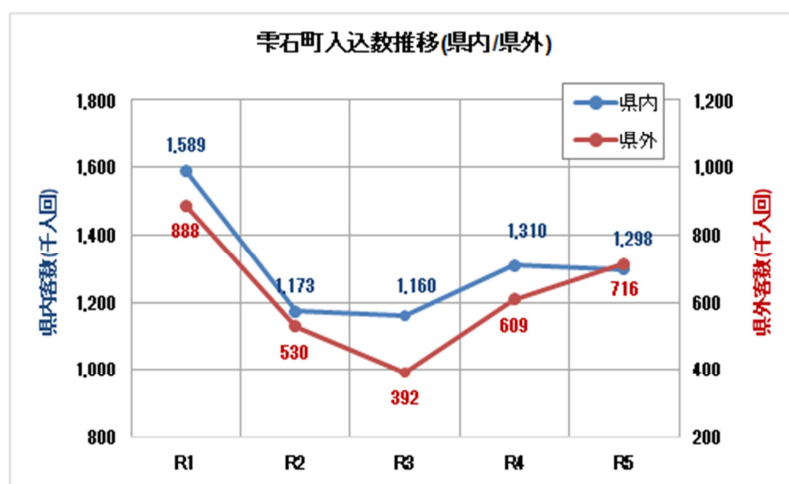


②発地別

県外客の入込数には外国人旅行者の人数も含まれているため、外国人を分けて比較を行った。
 昨年10月の入国制限緩和から当町への外国人旅行客数はまだ様子見といった変化だったが、本年3月以降はほぼコロナ前と同程度に増加。例年入込が減少する夏場はコロナ前を上回る人数となって、過去最高を記録。国内では県内客がわずかに減少した一方で、県外客は昨年を引き続き増加した。

県内客は12,236人回減の1,297,776人回で前年比99.1%、県外客は106,974人回増の715,658人回/117.6%だったが、コロナ前のR1年との比較では県内客が81.7%、県外客は80.6%で、県外客もコロナ前の8割まで回復した。一方、外国人旅行者は急速に回復。ニューヨークタイムズ紙の記事の効果もあってか、前年比42,106人回増の44,311人回となり、コロナ前を超え過去最高を記録した。

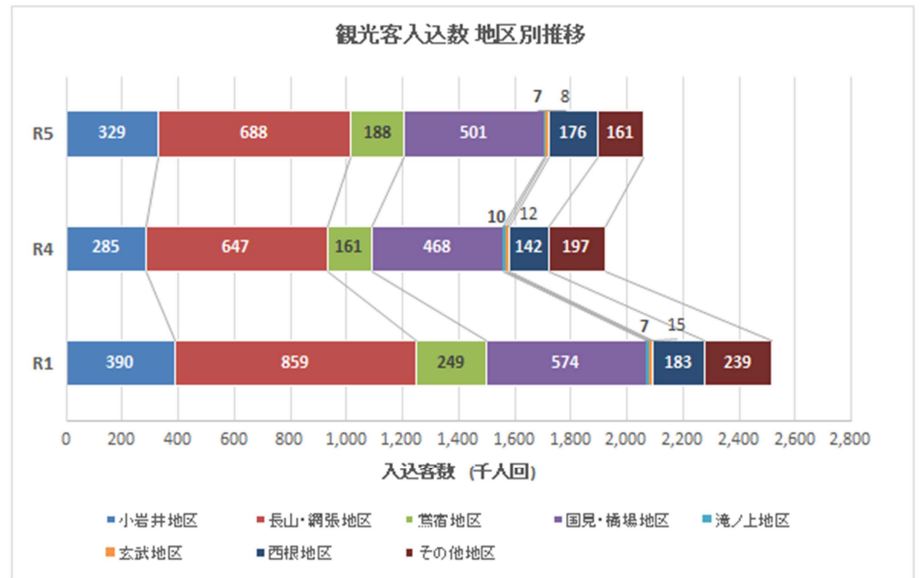
	R1	前年比	R3	前年比	R1年比	R4	前年比	R1年比	R5	前年比	R1年比
県内	1,589,390	99.0%	1,160,334	98.9%	73.0%	1,310,012	112.9%	82.4%	1,297,776	99.1%	81.7%
県外	887,851	99.6%	391,885	73.9%	44.1%	608,684	155.3%	68.6%	715,658	117.6%	80.6%
海外	39,091	106.2%	221	1.3%	0.6%	2,205	997.7%	5.6%	44,311	2009.6%	113.4%



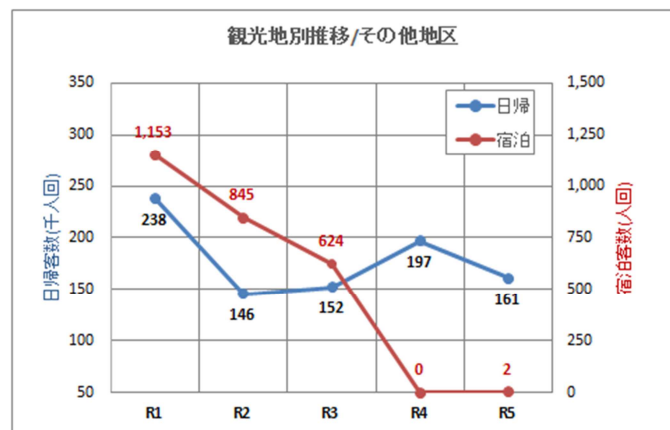
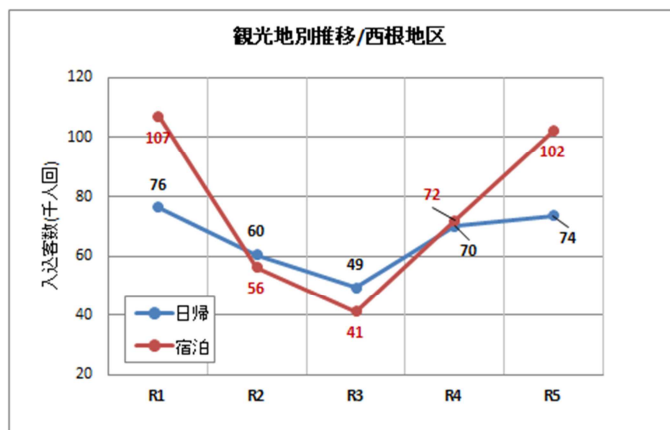
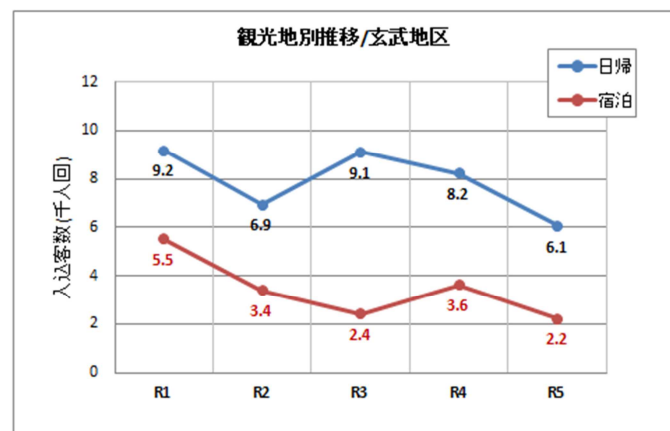
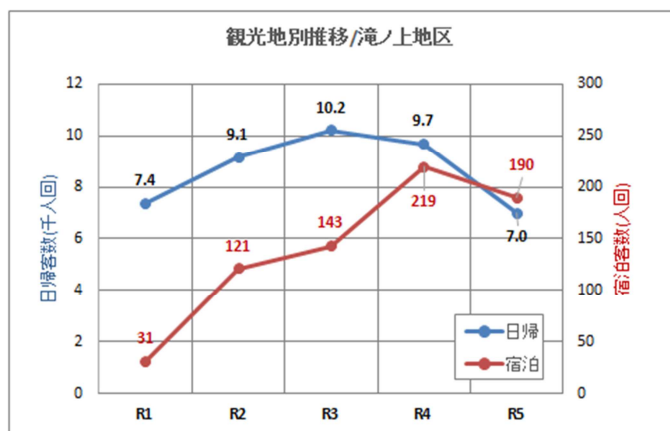
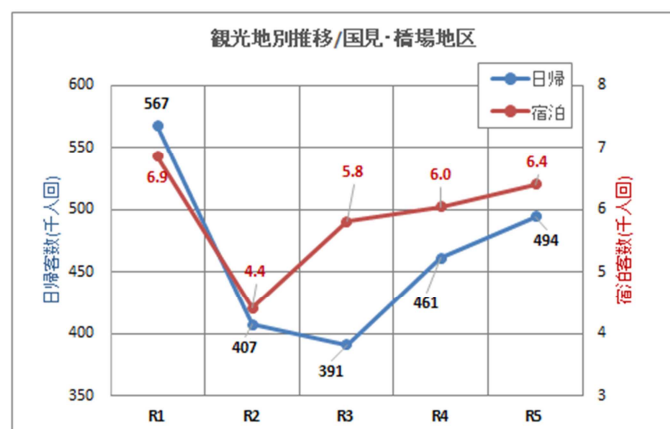
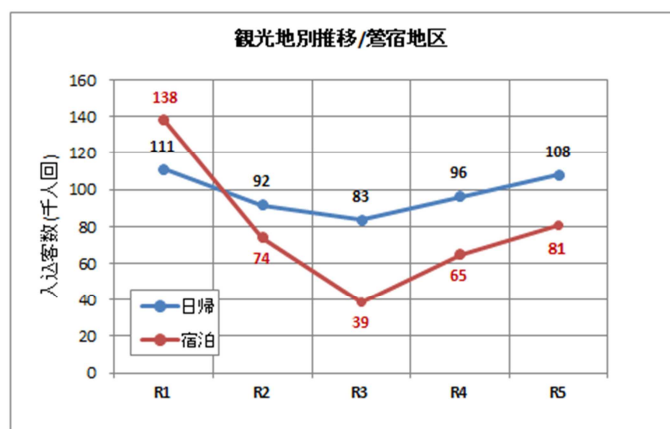
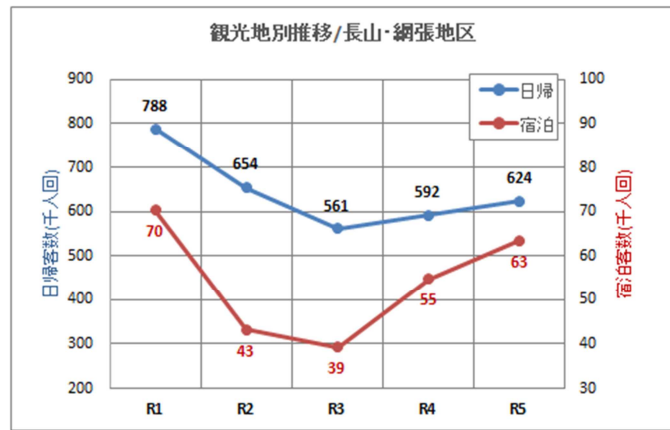
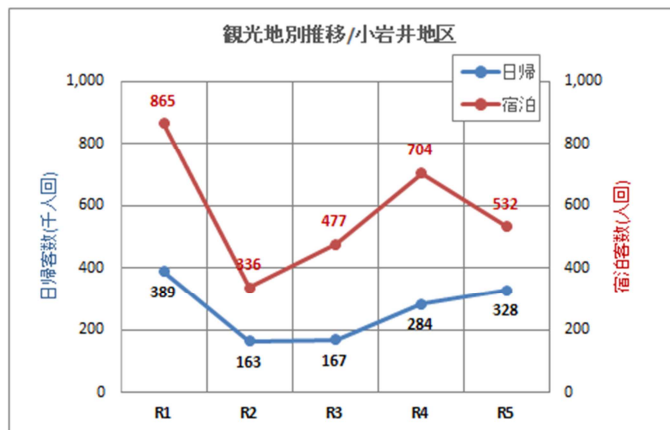
2 観光地年別入込状況

①日帰/宿泊別

本年は、新型コロナの5類移行もあり、人の動きも活発になって入込客数は増加したが、夏の猛暑や豪雨など天候の影響を受け減少となった地区もあった。日帰客は2地区を除きコロナ前の80～96%まで回復(2地区は67%前後)。一方宿泊客はコロナ前の40～95%ほどで、閉館による施設減の影響もあるが、地区による差が大きくなっている。



観光地別		年度		R1		R2		R3		R4			R5		
		人回	前年比	人回	前年比	人回	前年比	人回	前年比	R1年比	人回	前年比	R1年比		
			%		%		%		%	%		%	%		
小岩井地区	日帰	389,090	100.3%	162,832	41.8%	167,329	102.8%	284,153	169.8%	73.0%	328,237	115.5%	84.4%		
	宿泊	865	108.3%	336	38.8%	477	142.0%	704	147.6%	81.4%	532	75.6%	61.5%		
	計	389,955	100.3%	163,168	41.8%	167,806	102.8%	284,857	169.8%	73.0%	328,769	115.4%	84.3%		
長山・網張地区	日帰	788,350	102.3%	653,672	82.9%	561,305	85.9%	591,862	105.4%	75.1%	624,276	105.5%	79.2%		
	宿泊	70,286	100.1%	43,219	61.5%	39,325	91.0%	54,835	139.4%	78.0%	63,422	115.7%	90.2%		
	計	858,636	102.1%	696,891	81.2%	600,630	86.2%	646,697	107.7%	75.3%	687,698	106.3%	80.1%		
鶯宿地区	日帰	110,910	98.2%	91,643	82.6%	83,492	91.1%	96,219	115.2%	86.8%	107,802	112.0%	97.2%		
	宿泊	138,153	95.8%	74,003	53.6%	38,646	52.2%	64,829	167.8%	46.9%	80,670	124.4%	58.4%		
	計	249,063	96.9%	165,646	66.5%	122,138	73.7%	161,048	131.9%	64.7%	188,472	117.0%	75.7%		
国見・橋場地区	日帰	567,453	99.5%	406,962	71.7%	390,961	96.1%	461,464	118.0%	81.3%	494,323	107.1%	87.1%		
	宿泊	6,855	104.5%	4,409	64.3%	5,808	131.7%	6,043	104.0%	88.2%	6,406	106.0%	93.5%		
	計	574,308	99.6%	411,371	71.6%	396,769	96.5%	467,507	117.8%	81.4%	500,729	107.1%	87.2%		
滝ノ上地区	日帰	7,370	124.1%	9,159	124.3%	10,209	111.5%	9,676	94.8%	131.3%	7,003	72.4%	95.0%		
	宿泊	31	—	121	390.3%	143	118.2%	219	153.1%	706.5%	190	86.8%	612.9%		
	計	7,401	124.6%	9,280	125.4%	10,352	111.6%	9,895	95.6%	133.7%	7,193	72.7%	97.2%		
玄武地区	日帰	9,187	104.1%	6,940	75.5%	9,101	131.1%	8,224	90.4%	89.5%	6,052	73.6%	65.9%		
	宿泊	5,512	115.6%	3,397	61.6%	2,408	70.9%	3,619	150.3%	65.7%	2,209	61.0%	40.1%		
	計	14,699	108.2%	10,337	70.3%	11,509	111.3%	11,843	102.9%	80.6%	8,261	69.8%	56.2%		
西根地区	日帰	76,299	97.2%	60,462	79.2%	49,310	81.6%	70,169	142.3%	92.0%	73,527	104.8%	96.4%		
	宿泊	106,999	97.4%	56,049	52.4%	41,130	73.4%	71,849	174.7%	67.1%	102,121	142.1%	95.4%		
	計	183,298	97.3%	116,511	63.6%	90,440	77.6%	142,018	157.0%	77.5%	175,648	123.7%	95.8%		
その他地区	日帰	237,819	91.4%	145,553	61.2%	152,172	104.5%	197,036	129.5%	82.9%	160,973	81.7%	67.7%		
	宿泊	1,153	81.8%	845	73.3%	624	73.8%	0	0.0%	0.0%	2	—	0.2%		
	計	238,972	91.4%	146,398	61.3%	152,796	104.4%	197,036	129.0%	82.5%	160,975	81.7%	67.4%		
合 計	日帰	2,186,478	99.6%	1,537,223	70.3%	1,423,879	92.6%	1,718,803	120.7%	78.6%	1,802,193	104.9%	82.4%		
	宿泊	329,854	97.7%	182,379	55.3%	128,561	70.5%	202,098	157.2%	61.3%	255,552	126.4%	77.5%		
	計	2,516,332	99.3%	1,719,602	68.3%	1,552,440	90.3%	1,920,901	123.7%	76.3%	2,057,745	107.1%	81.8%		



②発地別

地区毎の発地別状況については以下の通り。

【小岩井地区】

県外客が回復基調にある。本年は前年比 55,902 人回増の 143.9%とさらに増加したが、まだコロナ前の 8 割ほどで回復しきっていない。一方県内客は前年比 17,154 人回減の 89.1%、R1 年比では 93.1%とコロナ前を下回る結果となった。

【長山・網張地区】

県内/県外とも昨年より増加。県内客は前年比 104.4%(R1 年比 80.3%)、県外客は同 110.4%(同 79.9%)だった。

【鶯宿地区】

県内/県外とも昨年より増加したが、県外客はコロナ前の 6 割強、県内客は 8 割ほどで全体でもコロナ前の 3/4 ほどに留まっている。一方で外国人観光客については、昨年のおよそ 10 倍、コロナ前との比較でも 1,304 人回増の 9,849 人回(115.3%)となった。

【国見・橋場地区】

県内/県外とも昨年より増加。県内客は 24,822 人回増の 349,493 人回(前年比 107.6%)、県外客は 8,400 人回増の 151,236 人回(同 105.9%)だったが、R1 年比ではまだ 9 割弱に留まっている。

【滝ノ上地区】

県内客は前年比 2,269 人回減の 5,710 人回(71.6%)、県外客も 431 人回減の 1,483 人回(77.5%)と共に減少。コロナ前とはほぼ同程度となった。

【玄武地区】

閉館の影響もあり、県内外とも昨年より減少。県内客は前年比 2,522 人回減の 70.4%、県外客は 1,060 人回減の 68.2%で、県外客はコロナ前の 45.0%と、半数を下回った。

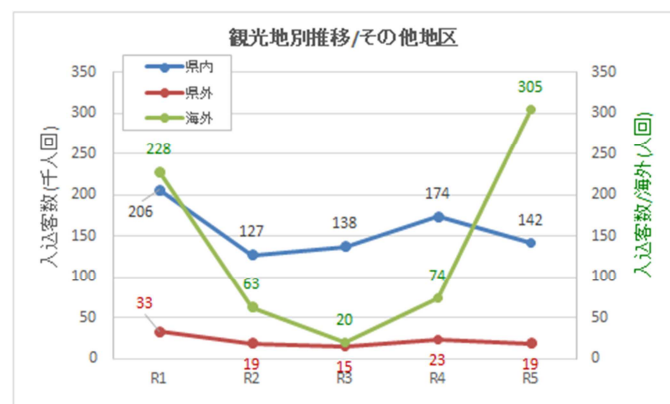
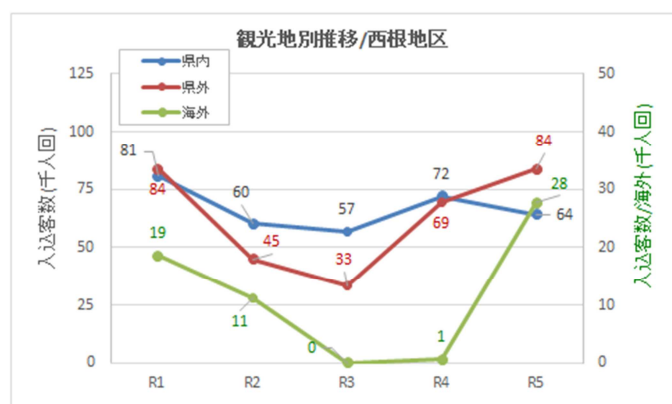
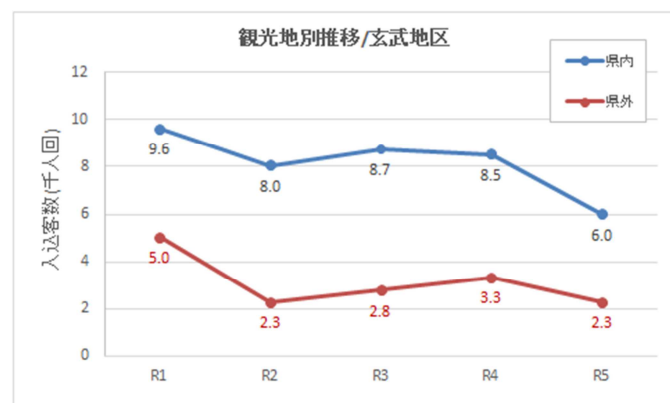
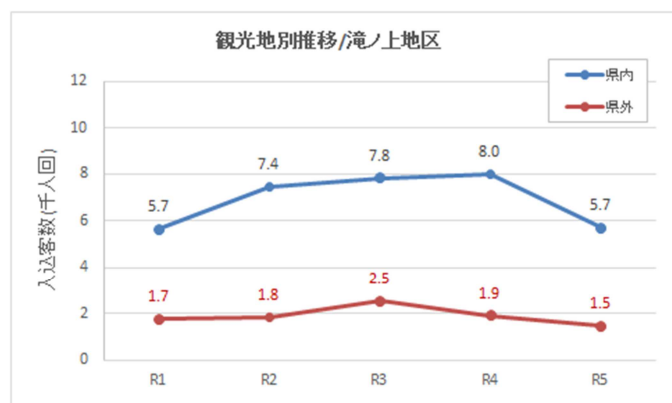
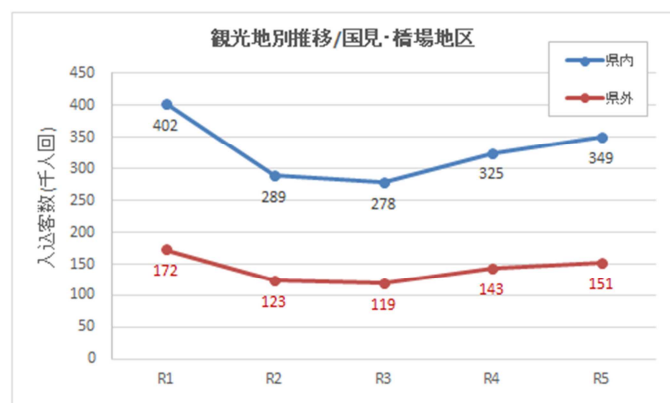
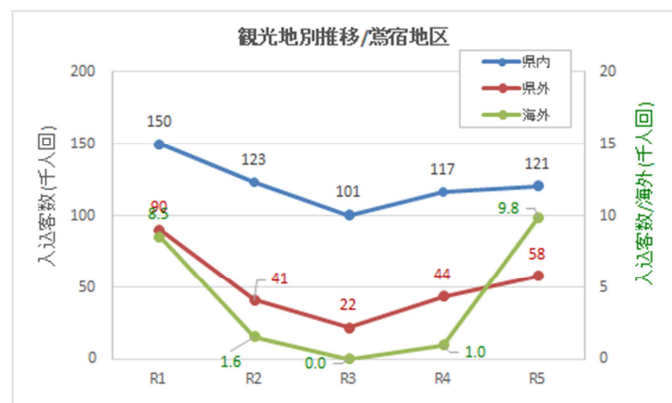
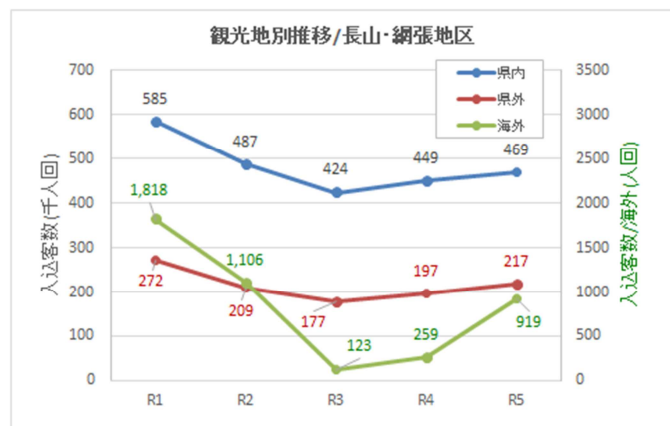
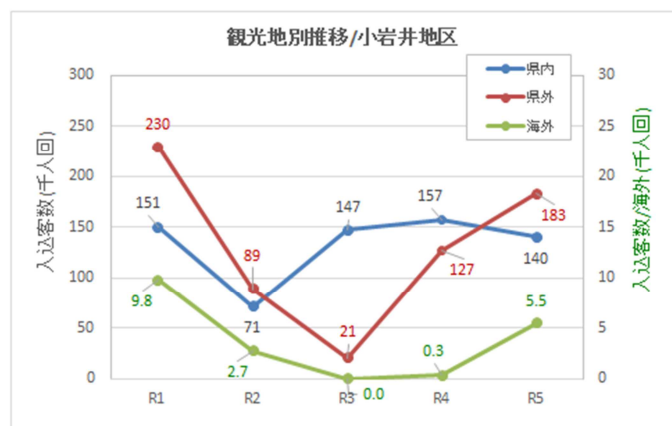
【西根地区】

県外客は 14,109 人回増の 83,574 人回で前年比 120.3%(R1 年比 99.6%)、県内客は 7,651 人回増の 64,314 人回(前年比 89.4%、R1 年比 79.7%)。一方海外客は団体の入込が増え、コロナ前の約 1.5 倍まで増加した。

【その他地区】

猛暑による屋外施設での減少が響き県内外とも昨年より減少。県内客は前年比 31,535 人回減の 81.8%でコロナ前の 68.9%、県外客は同 4,757 人回減の 79.7%、コロナ前の 57.1%となった。

観光地別		年度	R1	R3	R4	R5	前年比	R1年比
小岩井地区	県内		150,516	147,235	157,319	140,165	89.1%	93.1%
	県外		229,671	20,558	127,224	183,126	143.9%	79.7%
	海外		9,768	13	314	5,478	1744.6%	56.1%
	計		389,955	167,806	284,857	328,769	115.4%	84.3%
長山・網張地区	県内		584,626	423,563	449,430	469,349	104.4%	80.3%
	県外		272,192	176,944	197,008	217,430	110.4%	79.9%
	海外		1,818	123	259	919	354.8%	50.6%
	計		858,636	600,630	646,697	687,698	106.3%	80.1%
鶯宿地区	県内		150,323	100,543	116,562	120,716	103.6%	80.3%
	県外		90,195	21,589	43,518	57,907	133.1%	64.2%
	海外		8,545	6	968	9,849	1017.5%	115.3%
	計		249,063	122,138	161,008	188,472	117.1%	75.7%
国見・橋場地区	県内		401,866	277,810	324,671	349,493	107.6%	87.0%
	県外		172,440	118,957	142,836	151,236	105.9%	87.7%
	海外		2	2	0	0	-	0.0%
	計		574,308	396,769	467,507	500,729	107.1%	87.2%
滝ノ上地区	県内		5,656	7,820	7,979	5,710	71.6%	101.0%
	県外		1,745	2,532	1,914	1,483	77.5%	85.0%
	海外		0	0	2	0	0.0%	-
	計		7,401	10,352	9,895	7,193	72.7%	97.2%
玄武地区	県内		9,607	8,730	8,514	5,992	70.4%	62.4%
	県外		5,037	2,779	3,329	2,269	68.2%	45.0%
	海外		55	0	0	0	-	0.0%
	計		14,699	11,509	11,843	8,261	69.8%	56.2%
西根地区	県内		80,691	56,895	71,965	64,314	89.4%	79.7%
	県外		83,932	33,488	69,465	83,574	120.3%	99.6%
	海外		18,675	57	588	27,760	4721.1%	148.6%
	計		183,298	90,440	142,018	175,648	123.7%	95.8%
その他地区	県内		206,105	137,738	173,572	142,037	81.8%	68.9%
	県外		32,639	15,038	23,390	18,633	79.7%	57.1%
	海外		228	20	74	305	412.2%	133.8%
	計		238,972	152,796	197,036	160,975	81.7%	67.4%
合計	県内		1,589,390	1,160,334	1,310,012	1,297,776	99.1%	81.7%
	県外		887,851	391,885	608,684	715,658	117.6%	80.6%
	海外		39,091	221	2,205	44,311	2009.6%	113.4%
	計		2,516,332	1,552,440	1,920,901	2,057,745	107.1%	81.8%



* 年間の外国人観光客数がこの期間 50 人以下の地区は、グラフから除外しています

3 観光地別月別入込状況

町内全体の月毎の推移をみると、天候が芳しくなかった6月、7月、紅葉が遅れた9月、10月で入込が減少。6、7、10月は昨年の94～98%ほどだったが、9月は88%ほどに減少した一方、1～3月の冬季には昨年の130～140%に増加した。コロナ前と比較すると、10月は微増、12月は昨年とほぼ同数となったがそれ以外の月ではいずれも減少。特に2月は依然54%程度に留まっている。

【小岩井地区】

2月「いわて雪まつり」に代わる「雫石・冬フェスタ」の開催で、昨年より大幅に入込が増加。5月の新型コロナの5類への移行前後から県外客が県内客を上回るようになり、特に8月は県外客の増加が入込数を押し上げる結果となった。

【長山・網張地区】

5～7月にかけて日帰客が減少。また9月も紅葉がずれ込んだ影響か、昨年の9割ほどに減少した。一方宿泊客については、県内客は夏場を中心に減少したものの、県外客は1年を通して昨年より増加したこともあってか、トータルではコロナ前の9割ほどまで回復した。

【鶯宿地区】

日帰客は9月に県内外共昨年を下回ったが、トータルでは昨年より増加。宿泊客では県内客が5月以降昨年と同程度か下回る事が多くなったが、海外を含む県外客の増加により同じくトータルでは増加した。

【国見・橋場地区】

夏場に昨年を下回る月があったもののそれ以外の月でカバーし、1年を通しては回復基調が続いているものの、昨年ほどの伸びにはならなかった。

【玄武地区】

日帰/宿泊ともほぼすべての月で昨年より減少。特に1月は減少が大きく、日帰/宿泊とも前年の50%ほどに減少した。

【西根地区】

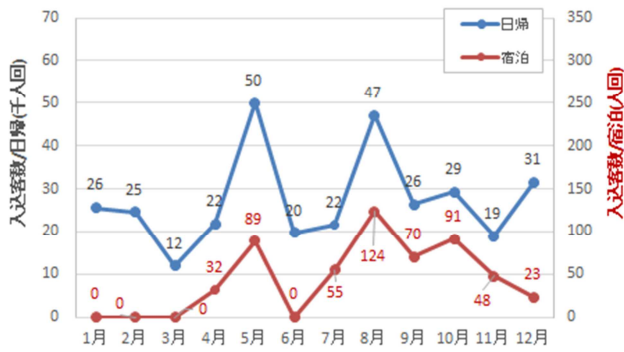
県外宿泊客数は1年を通して昨年より増加したが、県内客は日帰/宿泊とも多くの月で減少。12月は降雪が少なかった影響か、日帰客は昨年の6割程度に減少した。全体では日帰りは昨年の104.8%(R1年比96.4%)、宿泊は142.1%(同95.4%)と、ほぼコロナ前の数字まで回復しつつある。

【その他地区】

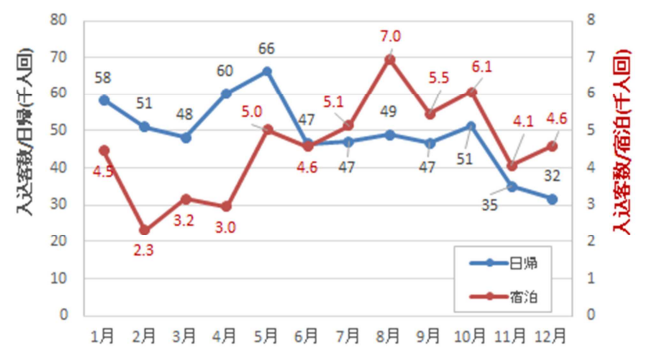
1施設の閉館と夏場の猛暑による野外施設での入込減の影響により、すべての月で入込が減少。特に5～7月の県外日帰客数は昨年の4～5割にまで落ち込んだ。

観光地別		R5 合計		
		県内	県外	合計
小岩井地区	日帰	140,084	188,153	328,237
	宿泊	81	451	532
	計	140,165	188,604	328,769
長山・網張地区	日帰	440,095	184,181	624,276
	宿泊	29,254	34,168	63,422
	計	469,349	218,349	687,698
鶯宿地区	日帰	91,751	16,051	107,802
	宿泊	28,965	51,705	80,670
	計	120,716	67,756	188,472
国見・橋場地区	日帰	345,847	148,476	494,323
	宿泊	3,646	2,760	6,406
	計	349,493	151,236	500,729
滝ノ上地区	日帰	5,634	1,369	7,003
	宿泊	76	114	190
	計	5,710	1,483	7,193
玄武地区	日帰	5,106	946	6,052
	宿泊	886	1,323	2,209
	計	5,992	2,269	8,261
西根地区	日帰	52,711	20,816	73,527
	宿泊	11,603	90,518	102,121
	計	64,314	111,334	175,648
その他地区	日帰	142,037	18,936	160,973
	宿泊	0	2	2
	計	142,037	18,938	160,975
合計	日帰	1,223,265	578,928	1,802,193
	宿泊	74,511	181,041	255,552
	計	1,297,776	759,969	2,057,745

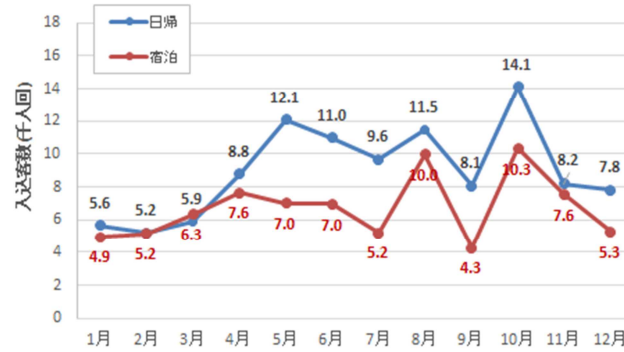
観光地別推移/小岩井地区



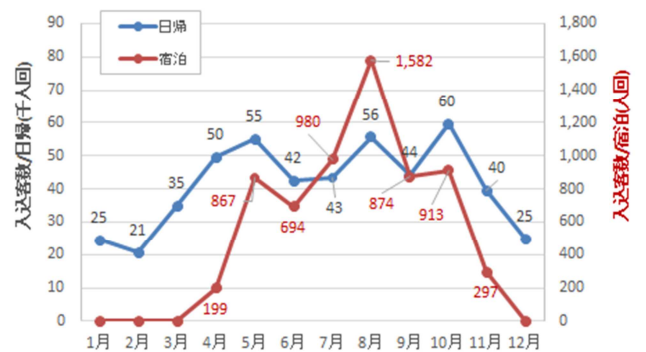
観光地別推移/長山・網張地区



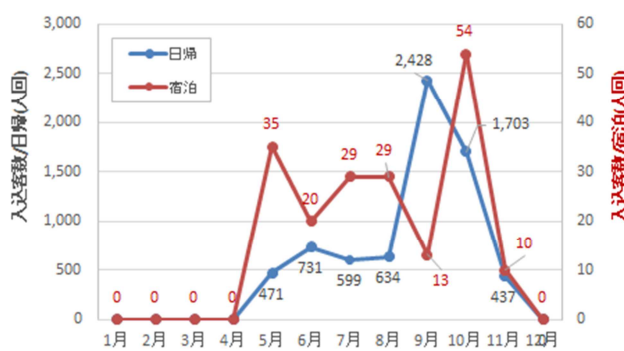
観光地別推移/鶯宿地区



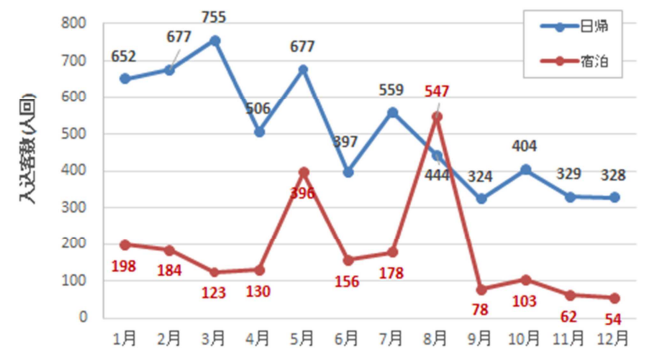
観光地別推移/国見・橋場地区



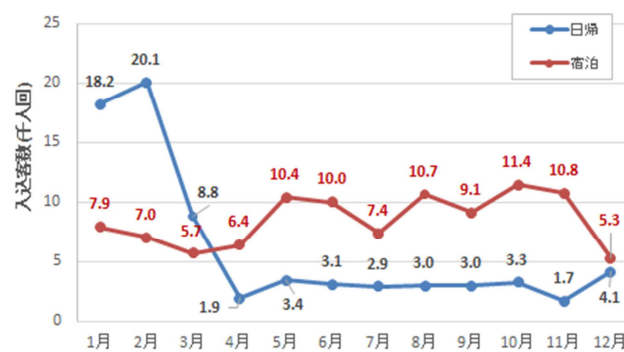
観光地別推移/滝ノ上地区



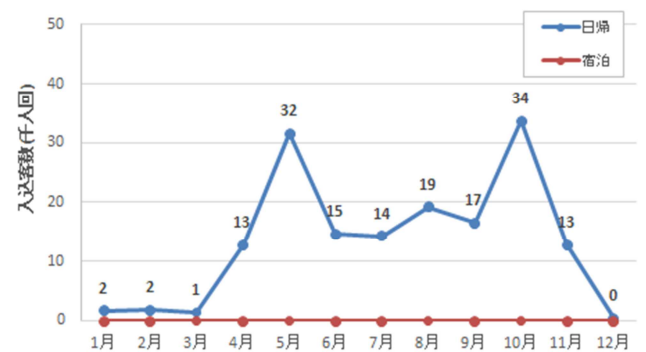
観光地別推移/玄武地区



観光地別推移/西根地区



観光地別推移/その他地区



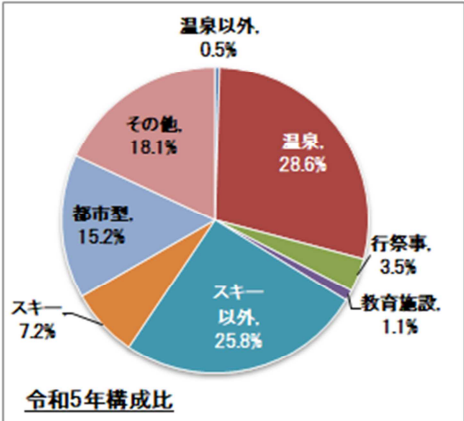
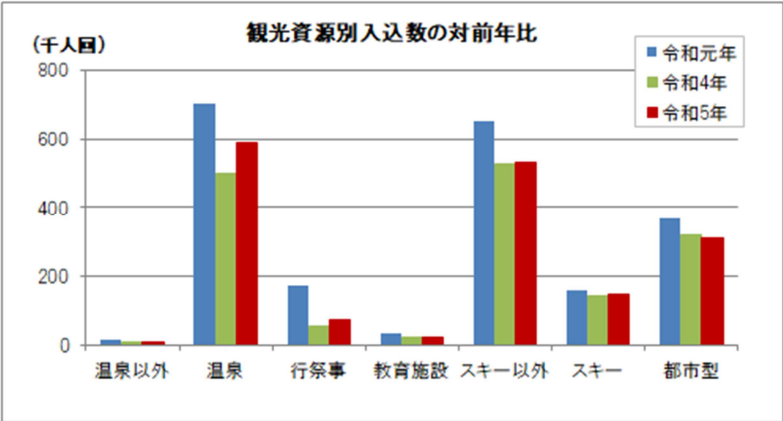
4 観光資源別入込状況

旅行支援等はなかったものの人の動きがさらに活発化し、ほとんどの資源で昨年より入込数が増加した一方で、「温泉以外」と「都市型観光」では施設の閉館が影響し減少した。「温泉」に関しては昨年からの伸びが大きくなったものの、依然コロナ前の8割ほどである。また「スキー」はコロナ前の95%に回復したが、他の資源は4割から8割ほどで、まだ回復途上にある。

観光資源別入込数（人回）

	自然系観光資源		人文系観光資源	展示見学 教育施設	野外活動施設		観光資源		合計
	温泉以外	温泉	行祭事		スキー以外	スキー	都市型	その他	
令和元年	16,435	698,683	168,215	32,161	647,219	156,253	365,874	431,492	2,516,332
令和4年	12,016	497,229	54,100	21,546	523,275	143,304	320,998	348,433	1,920,901
令和5年	9,495	588,869	72,665	23,183	530,353	148,649	312,328	372,203	2,057,745
前年差	-2,521	91,640	18,565	1,637	7,078	5,345	-8,670	23,770	136,844
対前年比	79.0%	118.4%	134.3%	107.6%	101.4%	103.7%	97.3%	106.8%	107.1%
R1年差	-6,940	-109,814	-95,550	-8,978	-116,866	-7,604	-53,546	-59,289	-458,587
対R1年比	57.8%	84.3%	43.2%	72.1%	81.9%	95.1%	85.4%	86.3%	81.8%
構成比(R5)	0.5%	28.6%	3.5%	1.1%	25.8%	7.2%	15.2%	18.1%	100.0%

※野外活動施設(スキー以外)には、屋内温水プール、登山などを含む。

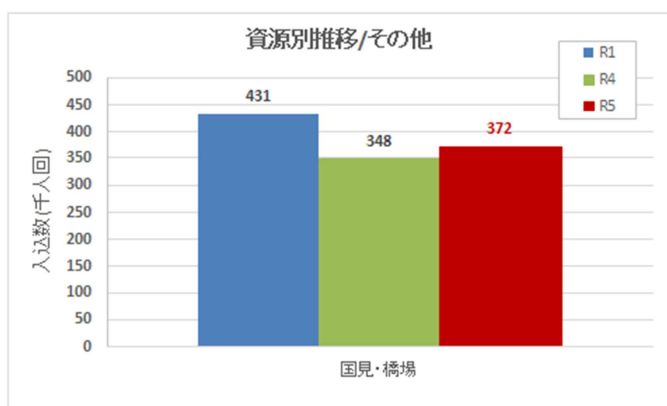
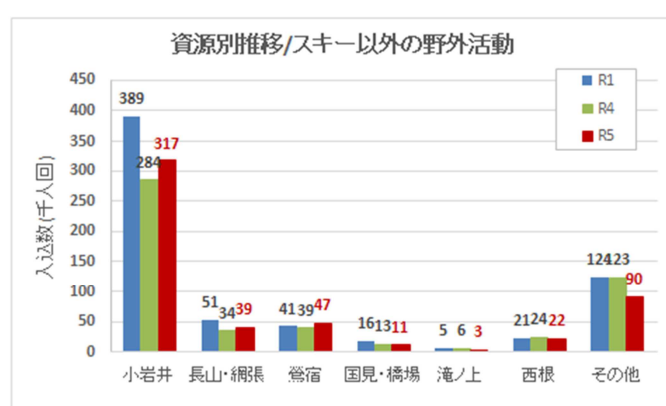
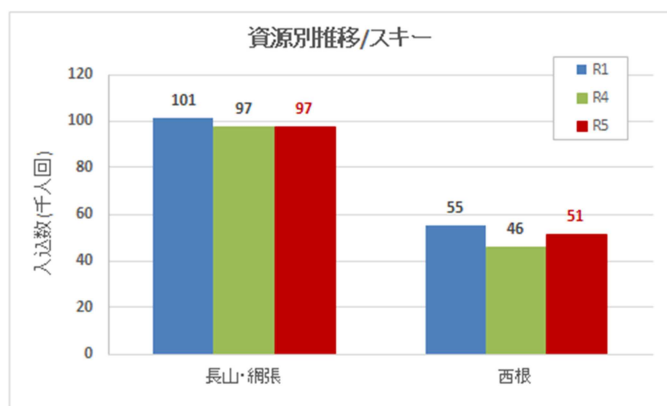
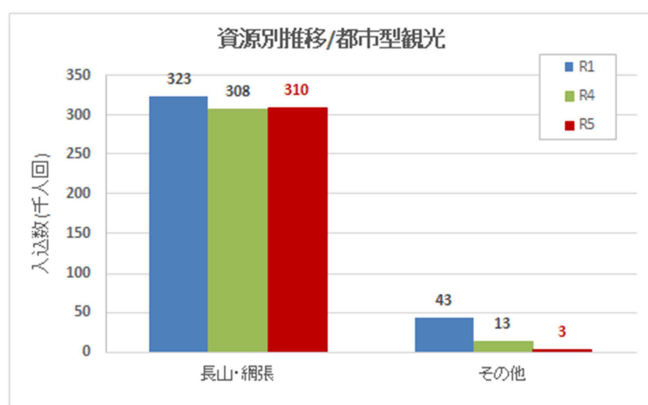
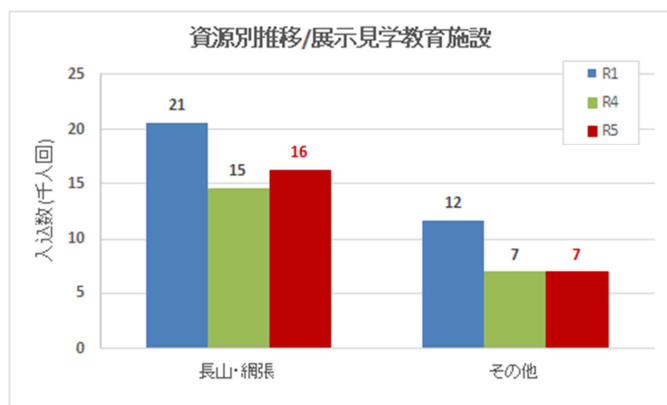
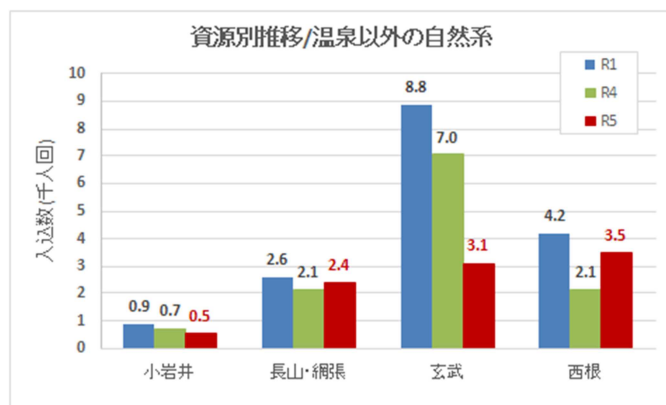
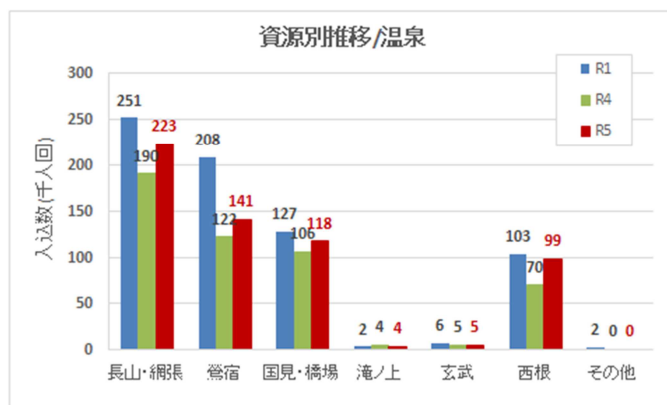


主な行祭事の入込数と対前年比（人回）

行祭事	R1	R4	R5	前年差引	前年比	R1差引	R1年比
いわて雪まつり	109,580	0	-	-	-	-	-
雫石・冬フェスタ	-	-	11,500	-	-	-	-
軽トラ市	31,700	36,600	35,500	-1,100	97.0%	3,800	112.0%
雫石よしゃれ祭	7,300	5,000	6,200	1,200	124.0%	-1,100	84.9%
南部よしゃれ全国大会	500	500	515	15	103.0%	15	103.0%
しずくいし産業まつり	17,000	12,000	18,000	6,000	150.0%	1,000	105.9%

* 「いわて雪まつり」は R4 年をもって開催終了

資源別地区別入込推移



* 該当する観光資源がある地区のみ表示

5 利用交通機関の状況

雫石町における観光レクリエーション客の主な利用交通機関に変動はなく、「自家用車」の利用が最も多く、1,651,115人回で構成比は80.2%と全体の8割を占めた。また、「貸切バス」と「その他」の利用が昨年より増加。「貸切バス」は団体旅行の、「その他」はレンタカーを含むことから県外からの旅行者の増加を示していると考えられる。「定期路線交通機関」の利用は昨年のバス路線廃止や減便のため、ほぼ新幹線等の鉄道、航空機によるものとみられるが、調査時に『あねっこバス利用』と明記された人数も30名ほどあり、あねっこバスの観光客利用も少なからずあると見られる。

利用交通機関の状況と前年比

(人回)

	定路線 交通機関	貸切バス	自家用車	その他	合計
令和1年	83,221	314,065	1,990,345	128,199	2,515,830
構成比(R1)	3.3%	12.5%	79.1%	5.1%	
令和4年	45,892	185,401	1,596,523	93,085	1,920,901
構成比(R4)	2.4%	9.7%	83.1%	4.8%	
令和5年	47,241	233,343	1,651,115	126,046	2,057,745
構成比(R5)	2.3%	11.3%	80.2%	6.1%	
前年比	102.9%	125.9%	103.4%	135.4%	
R1年比	56.8%	74.3%	83.0%	98.3%	

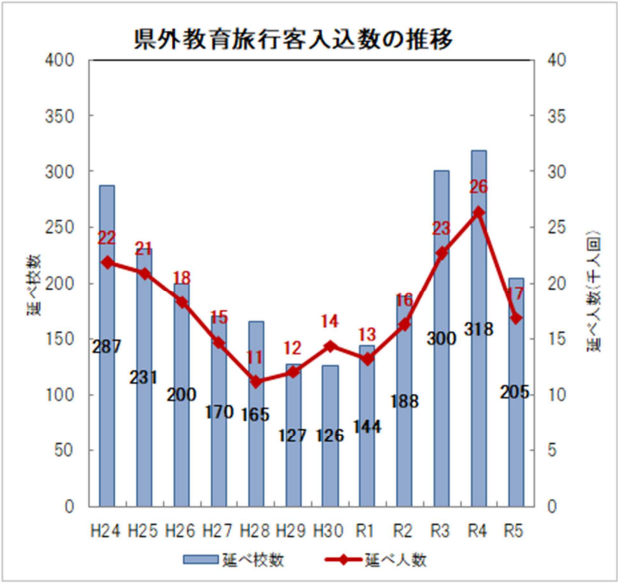
6 県外教育旅行客の入込状況

本年は新型コロナによる制限がなくなったことを受け、修学旅行などコロナ前の行先に戻りつつあるのか東北各県からの入込が大きく減り、校数、のべ人数とも昨年を下回る結果となった。

本年の県外からの教育旅行客は、学校数がのべ205校、のべ人数が16,879人回で、昨年と比較して学校数は113校(前年比64.5%)、人数は9,507人回(同64.0%)と昨年の6割程に減少。コロナ前よりは学校数で61校、人数で3,659人上回っているものの、H26年と同程度となった。1校あたりの平均人数は82.3人/校で、ほぼ昨年並み。

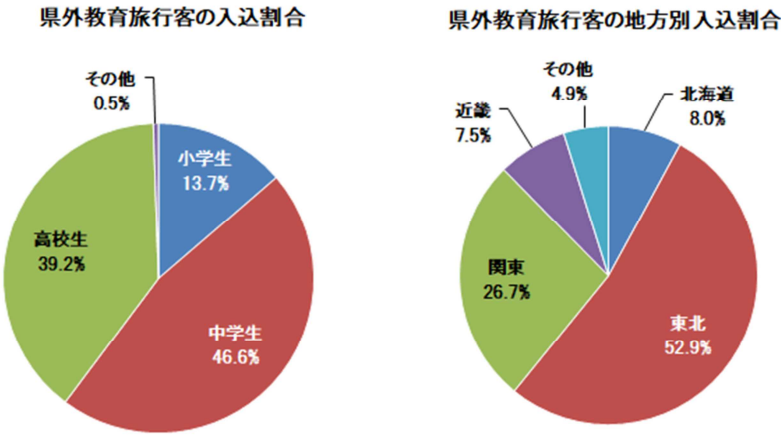
農業体験での教育旅行については、雫石町グリーン・ツーリズム推進協議会を通して春・秋で計6校受入れを行った。1校は体験のみ、1校は農家民泊も行ったが、その他は宿泊のみ民宿等宿泊施設を利用しての実施となった。また県と共に誘致を目指している台湾からの教育旅行に関しては、12月に台北市立陽明高等中学の32名を受入れ。雫石高校との学校交流や民宿での滞在を通して、地域の文化等に触れる機会となった。

学校種別では中学生が変わらず最多だが、46.6%で半数を下回った。小学生と高校生がそれぞれ13.7%と39.2%で、いずれも昨年より3ポイントほど増加。これは小学生、高校生は1校あたりの平均人数が昨年より増えた半面、中学生では減少したことも要因の一つとして考えられる。



学校種別	校数	のべ人数
小学校	39	2,314
中学校	123	7,860
高校	41	6,614
その他	2	91
計	205	16,879

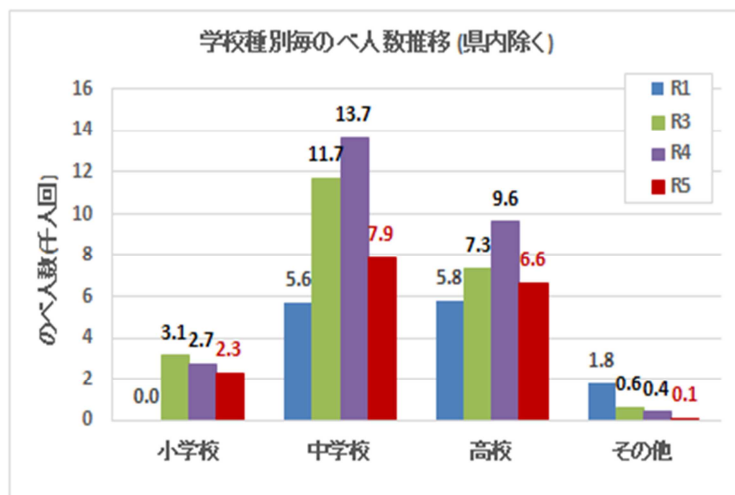
発地別	校数	のべ人数
北海道	20	1,345
東北	143	8,933
関東	28	4,508
中部	6	576
近畿	7	1,271
中国	1	246
四国		0
九州		0
沖縄		0
その他		0
計	205	16,879



また発地別では、東北各県からの入込が最も多いことに変わりはないが、その割合は昨年の60.2%から52.9%に減少。学校数では90校、のべ人数では6,962人回昨年より減少した。また、関東からは14校/1,770人回、近畿15校/704人回が昨年より減少している。その一方で、北海道からのみ9校/87人回の増加となった。

【学校種別】

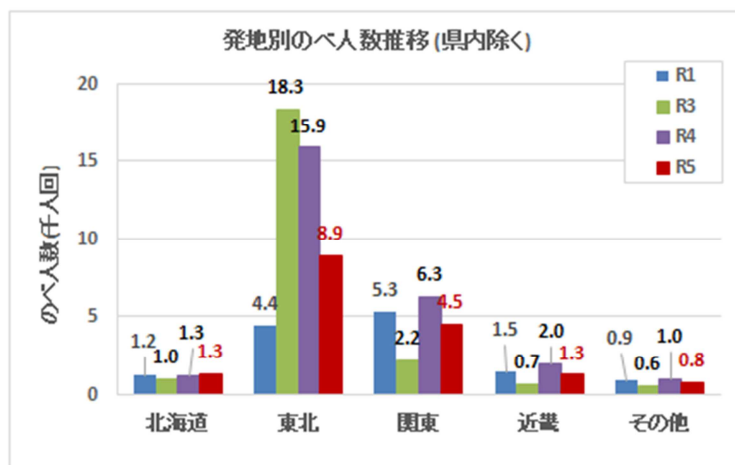
順調に増加していた中学生、高校生が減少に転じ、中学生は昨年の57.5%、高校生は68.9%となった。コロナ禍で増加した東北各県からの来訪が、大幅に減少したことが大きい。また高校生は、秋田、福島といった東北各県や関東からの減少が響いた。中学生、高校生はコロナ前を上回っているものの同程度に近づきつつあり、『選ばれる』ための策を講じる必要があると考える。



【発地別】

県内を除く東北各県からの来訪がさらに減少。コロナ前の約2倍の入込はあるものの、143校/8,933人回で、のべ人数では昨年の56.2%となった。関東からも高校生が昨年の7割ほどに減少したことで、コロナ前も下回る結果となった。

また北海道からは、学校数は増えたが1校あたりの人数が減ったことで、昨年並みに留まった。

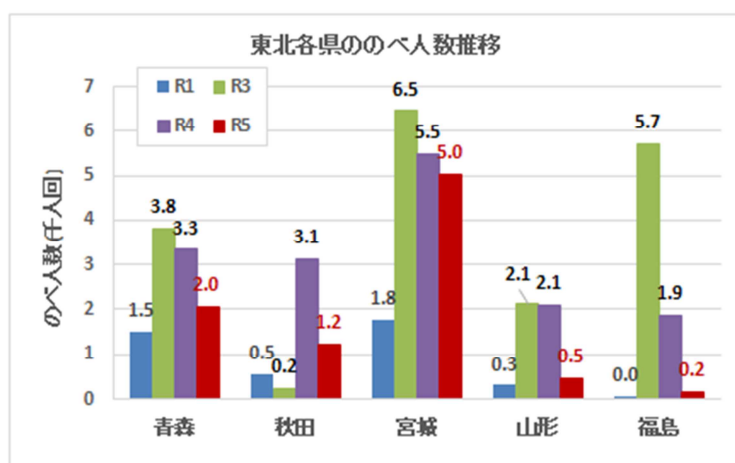


【東北各県からの入込状況】

すべての県で昨年より減少。宮城県は昨年の91.8%と減少幅が小さかった一方、青森県は61.5%、秋田県39.4%、山形県21.7%、福島県に至っては8.2%にまで減少した。コロナ禍にあって近隣県への修学旅行に切り替えていた学校が、東京など従来の旅行先に回帰していることが影響していると思われる。

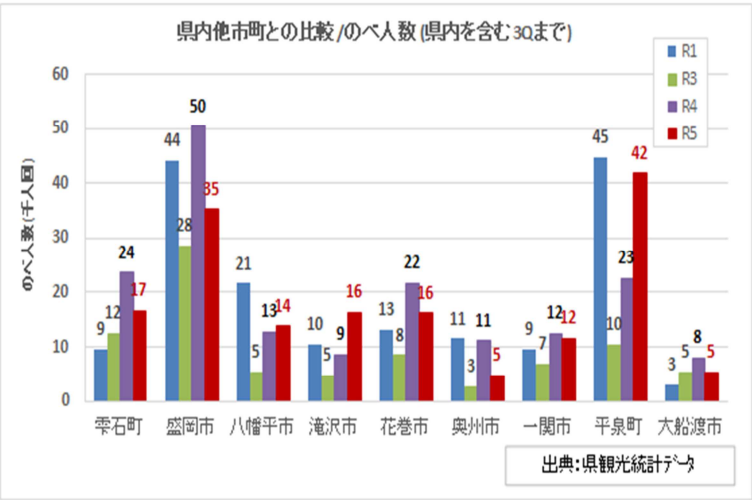
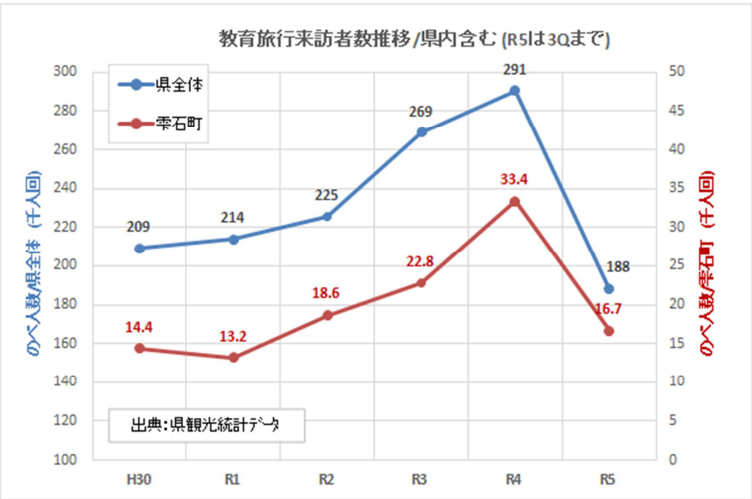
小学生はいずれの県からも減少。最も入込が多い中学生では、山形県はゼロ、青森県・福島県は各1校に減少。宮城県は学校数は増えたものの、昨年の8割ほどに減少した。

高校生でも、福島・秋田からが入込ゼロに。青森県からは高校生は昨年の約1.5倍に増加したが、小・中学生の減少が大きく、全体としては昨年を下回る結果となった。



さらに県観光統計データから岩手県と他市町の状況を見てみる。なお、県データは県内の入込も含み、現在公表されている第3四半期までの速報値となっている。岩手県全体では昨年の約65%で、このままのペースでは昨年を下回る可能性がある。第1～第3四半期の同期間で比較しても、昨年の約82%に留まっており、コロナ前よりは多いもののコロナ下でも続いていた増加傾向が減少に転じるかもしれない。

一方で主な市町毎に見ると、第3四半期までの同期間比較では、八幡平市、滝沢市、平泉町が昨年を超え、特に滝沢市、平泉町は昨年の2倍に迫る増加となっている。さらに滝沢市では、コロナ前と比較しても約160%に伸びている。その他の市町では盛岡市、花巻市、大船渡市が昨年同期のおよそ7割に、奥州市は同じく4割に減少しており、奥州市ではコロナ前の4割と大きく減少した。



7 外国人観光客の入込状況

外国人観光客に関しては回復が一気に進み、一部地域ではオーバーツーリズムが改めて問題視されるまでに至った。主要空港だけでなく、地方空港への国際定期便の運航も再開され始め、岩手県でも5月に台湾便が再開。当町でも、一気に増加に転じた。

本年の日本全体の外国人観光客数は JNTO の暫定値で 22,379,962 人回、昨年のおよそ 8 倍、コロナ前の R1 年との比較では 79.2% と 8 割ほどだが、急速に回復しつつある。

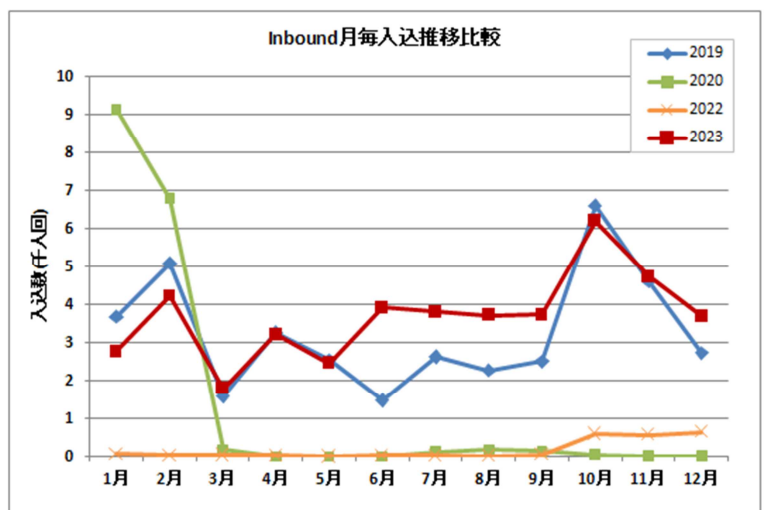
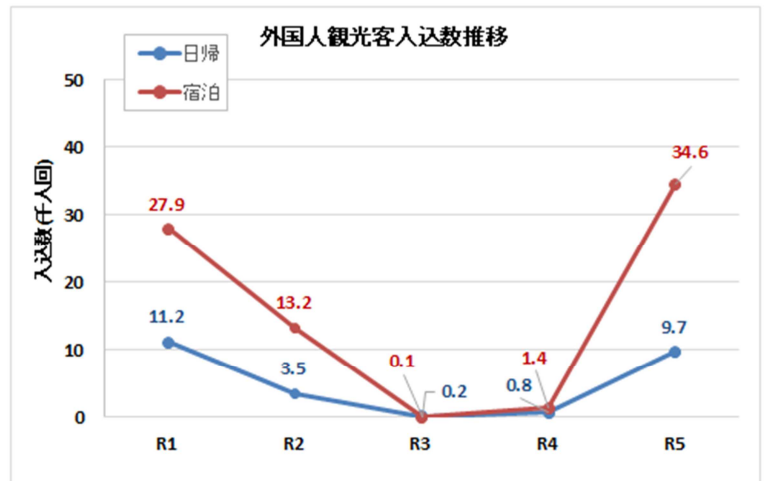
町内への外国人観光客数も昨年 10 月以降増加に転じ、44,311 人回と過去最高を記録。コロナ前との比較でも、5,220 人回増の 113.4% となった。例年入込が減少する 5～9 月でも入込が落ちなかったことも、増加の要因の 1 つと考えられる。

また地方空港への国際定期便の再開は進んできたが、中国との路線では再開が遅れている。仙台空港では北京・大連便が 7 月に再開した一方で、上海便は再開延期が続きようやく 12 月 23 日に再開したが、花巻⇄上海便の再開のメドは立っていない(補足:その他の路線では、仙台⇄バンコク便はチャーター便として運航)。

日帰り/宿泊の別では、日帰り客数は 9,733 人回で前年比 8,959 人回増の 1257.5% (R1 年比 1,457 人回減/87.0%)、宿泊客数は 34,578 人回で前年比 33,147 人回増の 2416.3% (同 6,677 人回増/123.9%) だった。日帰客はコロナ前のまだ 90% ほどだが、宿泊客はコロナ前を上回る結果となった。

町内スキー場でカウントされた来訪者数は 3,319 人回となった。残念ながら国・地域の別はほとんどが不明だが、宿泊施設の入込から類推すると、オーストラリアからは 600 人回ほどの来訪があったと見られる。また、昨年以降グリーン・ツーリズム推進協議会を通して農作業体験やそば打ち等の食体験で外国人観光客を受入れているが、

本年はデンマークやフィンランドを中心に、春・秋で計 288 人回の体験を実施した。日本一周ツアーの中の 1 日として組まれたものだったが、参加者には好評で R6 年も実施の予定があるなど、今後も近隣地域との差別化ができるユニークなコンテンツとして期待したい。



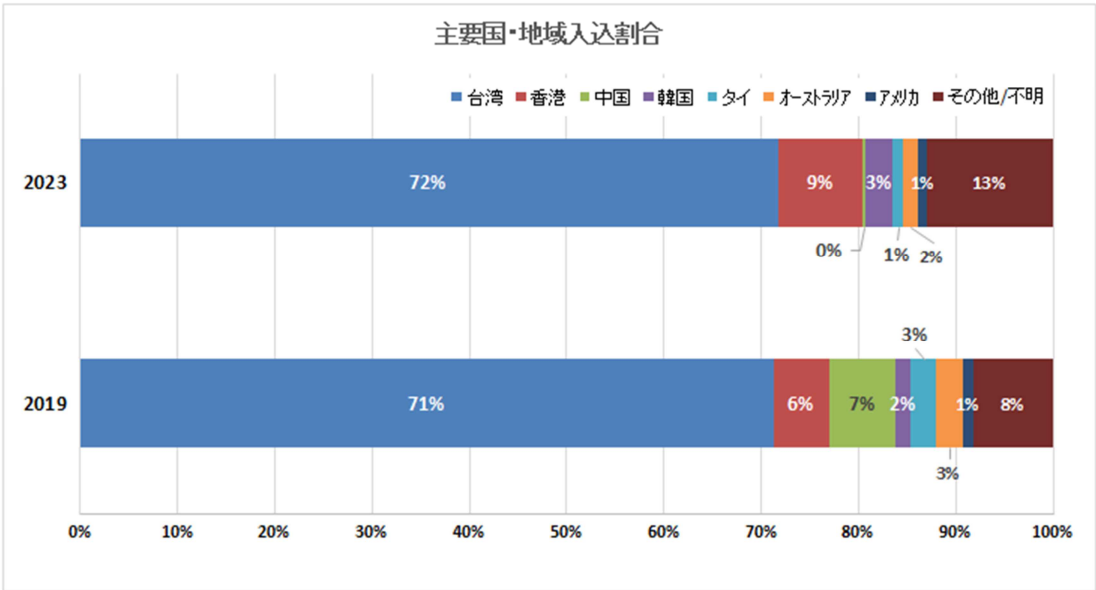
国・地域別の動向については、昨年の入込数が少ないためコロナ前のR1年との比較に留める。主要国・地域毎の入込状況は以下の通り。日帰り施設を中心に、国・地域不明のケースが4,000人回ほどあるが、アジアからが全体の87%を占め、次いでオセアニア、ヨーロッパと続く。

主要国・地域の内、コロナ前より増えたのは台湾、香港、韓国で、それぞれコロナ前のおよそ1.1倍、1.7倍、2倍となった。構成比では台湾からが全体の71.8%で最も多くを占めた。コロナ前台湾に次いで多かった中国は、その後の政策の影響もあり0.3%と低迷したままの一方、香港からの来訪は約9%に増加した。また、コロナ前から減少が続いていた韓国は、1,186人回でコロナ前の約2倍に増加し全体の2.7%。オーストラリアは回復傾向にはあるが、コロナ前の6割程度に留まっており全体の1.5%となった。

また、このリストに個別の記載はないが、マレーシアからの入込が増加している。絶対数はまだ少ないもののR1年比582人回増の775人回、約4倍に増加した。近年経済発展著しく、明らかな理由は不明ながら雪、桜、紅葉の時期に来訪が集中している。

外国人観光客の入込状況（人回）

地域 国籍等		人数			R1			R2			R3 (2021)			R4 (2022)			R5 (2023)		
		日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計	日帰	宿泊	計			
アジア	中国	1,938	712	2,650	32	248	280	1	0	1	23	16	39	44	111	155			
	台湾	6,510	21,397	27,907	2,083	8,150	10,233	4	1	5	39	676	715	4,470	27,344	31,814			
	香港	83	2,141	2,224	39	1,736	1,775	4	0	4	233	414	647	70	3,786	3,856			
	韓国	258	350	608	12	60	72	0	0	0	1	4	5	404	782	1,186			
	タイ	156	884	1,040	117	343	460	0	0	0	0	158	158	191	319	510			
	シンガポール	64	188	252	2	33	35	0	0	0	0	51	51	7	73	80			
	その他	261	328	589	163	52	215	15	2	17	65	6	71	268	584	852			
オセアニア	オーストラリア	22	1,049	1,071	17	1,837	1,854	0	0	0	18	9	27	5	664	669			
	その他	6	93	99	6	351	357	5	3	8	0	0	0	15	32	47			
北 米	アメリカ	185	250	435	170	162	332	17	54	71	13	34	47	190	215	405			
	カナダ	1	40	41	2	16	18	0	0	0	0	0	0	0	3	3			
ヨーロッパ	イギリス	14	31	45	5	18	23	0	0	0	34	3	37	0	3	3			
	フランス	4	66	70	1	3	4	0	2	2	1		1	5	14	19			
	ドイツ	19	166	185	3	38	41	0	0	0	5	10	15	26	47	73			
	スイス	0	19	19	3	4	7	0	0	0	0	0	0	2	0	2			
	スウェーデン	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	97	0	97			
	その他	57	84	141	96	149	245	0	5	5	54	1	55	460	19	479			
中南米		38	40	78	8	0	8	0	0	0	0	0	0	58	21	79			
アフリカ		2	0	2	0	0	0	2	0	2	5	0	5	2	0	2			
不 明		1,566	63	1,629	740	0	740	105	1	106	283	49	332	3,419	561	3,980			
合 計		11,190	27,901	39,091	3,499	13,200	16,699	153	68	221	774	1,431	2,205	9,733	34,578	44,311			



次に県の観光統計データから岩手県全体の状況を見てみる（本年のデータは現在公表されている第3四半期までの速報値）。

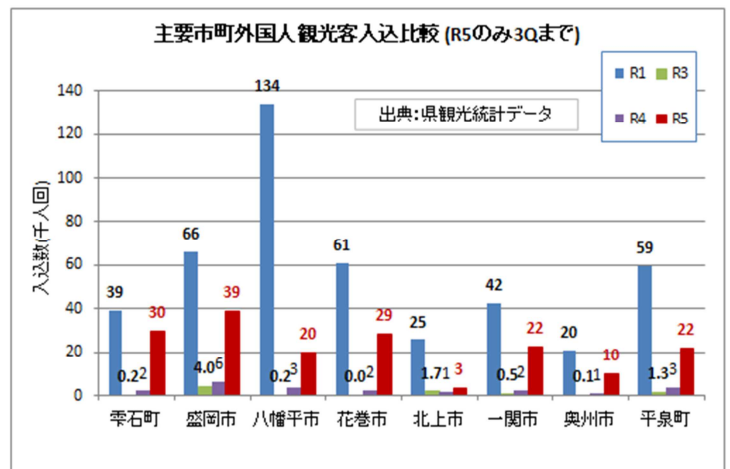
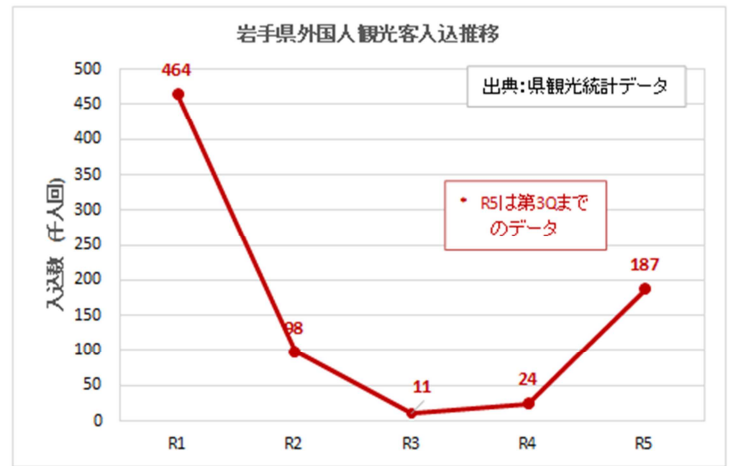
昨年の制限解除に伴って第3四半期に入り外国人観光客数が増加に転じ、これまでのところ大幅な回復傾向にある。岩手県全体の第3四半期までの入込で、既に昨年のおよそ780%と8倍近くに増加しているが、7-9月の伸びは鈍っている。

また他市町についても、昨年の入込の260～1740%といずれも増加。「The Newyork Times」紙で『2023年に訪れるべき世界の52か所』選ばれた盛岡市については、第3四半期までで昨年の653%となっているが、現状はコロナ前の約60%で明らかな効果はまだ見えていない。例年第4四半期に入込が増える傾向にあるため、年間を通しての入込の公表を待ちたい。

八幡平市は主力だった中国からの観光客が戻らない影響か、昨年より増えてはいるもののコロナ前の約15%ほどと苦戦が続いている。

北上市もスキーシーズンである第1四半期の入込が戻っておらず、前年比でも260%ほど、コロナ前比では12%と低い水準に留まっている。

花巻空港への台湾定期便は本年5月に再開され高い搭乗率が続いているものの、上海便は依然運休したままで再開の見通しは立っていない。また仙台空港への定期便も多くが再開しているが、県が主要ターゲットとするタイとの便は運航再開が再三延期されている。花巻空港をはじめとし、地方空港への国際定期便の再開がさらに進むことで、さらなる増加を期待したい。

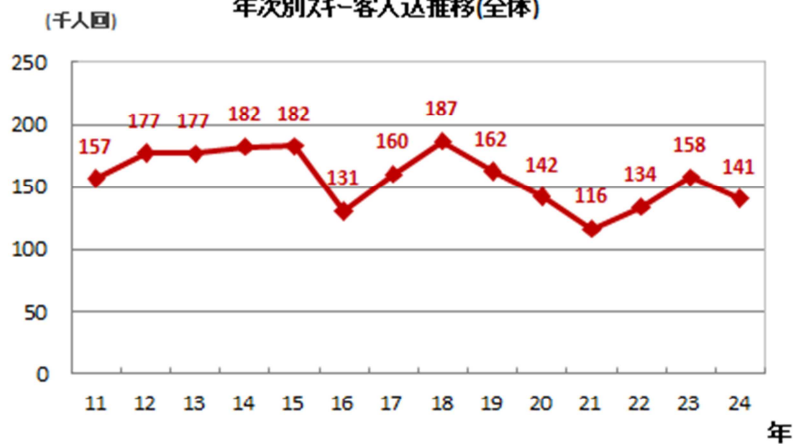


8 2023～2024シーズン・スキー客入込状況

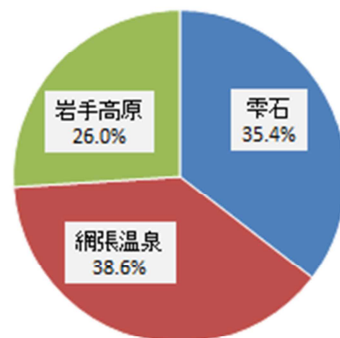
(単位:人回)

	年次	12月	1月	2月	3月	4月	計	備 考
栗石スキー場	10	7,410	24,078	20,716	14,600		66,804	12/18～3/28
	11	6,005	20,004	21,440	3,855		51,304	12/18～
	12	3,728	18,293	18,577	9,600		50,198	12/22～3/20
	13	6,726	19,862	15,498	8,035		50,121	12/15～3/31
	14	7,990	17,993	18,699	10,189		54,871	12/14～3/30
	15	12,236	18,745	15,388	7,568		53,937	12/13～3/29
	16	2,994	11,489	11,011	5,498		30,992	12/23～3/27
	17	2,315	17,810	17,167	9,566		46,858	12/16～3/26
	18	7,613	22,138	21,140	9,658		60,549	12/16～3/25
	19	4,608	21,300	19,500	8,666		54,074	12/15～3/31
	20	5,400	21,740	19,020	5,720		51,880	12/21～3/29
	21	3,000	11,700	9,770	4,355		28,825	12/26～3/21
	22	4,100	16,620	14,900	7,540		43,160	12/25～3/27
	23	6,830	18,228	20,066	8,800		53,924	12/24～3/26
	24	4,141	20,161	19,064	6,408		49,774	12/23～3/24
網張温泉スキー場	10	4,553	15,904	13,502	11,104	1,841	46,904	12/23～3/28、4/3・4
	11	2,166	15,686	14,508	4,346		36,706	12/25～
	12	3,510	18,659	15,447	12,940	1,330	51,886	12/23～4/1
	13	5,833	18,406	14,405	13,026	2,012	53,682	12/15～4/7
	14	5,524	18,332	14,351	13,459		51,666	12/14～3/30
	15	7,475	17,600	15,099	11,821	1,065	53,060	12/13～4/5
	16	2,067	16,465	13,488	10,310		42,330	12/28～3/27
	17	1,602	16,327	16,565	16,565	838	51,897	12/18～3/26、4/1・2
	18	6,830	18,797	16,953	12,047	168	54,795	12/16～4/1
	19	5,279	17,275	14,409	12,047		49,010	12/15～3/31
	20	2,860	17,025	15,757	10,190		45,832	12/21～3/29
	21	2,710	16,936	13,982	10,533		44,161	12/26～3/28
	22	3,286	17,788	15,670	10,481		47,225	12/25～3/27
	23	3,487	17,226	15,428	11,464		47,605	12/24～3/26
	24	2,875	19,170	18,524	13,671		54,240	12/23～3/31
岩手高原スノーパーク	10	8,506	37,026	24,307	8,436	736	79,011	12/19～4/4
	11	6,296	32,681	25,896	3,687		68,560	12/19～
	12	7,233	34,543	22,343	9,840	1,262	75,221	12/22～4/8
	13	8,073	33,304	22,825	8,746		72,948	12/15～3/31
	14	11,274	31,006	22,090	11,128		75,498	12/14～3/30
	15	13,520	31,434	21,247	9,269		75,470	12/13～3/29
	16	5,748	26,818	18,586	6,126		57,278	12/23～3/27
	17	3,682	25,227	21,494	9,749	1,105	61,257	12/15～4/9
	18	11,574	28,418	21,634	8,995	723	71,344	12/9～4/8
	19	8,863	25,257	18,294	6,217	783	59,414	12/15～4/7
	20	4,245	21,072	14,035	4,842	262	44,456	12/15～4/5
	21	3,165	19,875	14,277	5,580	300	43,197	12/26～4/4
	22	2,367	19,016	14,468	6,344	1,116	43,311	12/18～4/10
	23	9,044	21,936	16,566	7,990	454	55,990	12/10～4/2
	24	3,475	14,190	12,177	6,678		36,520	12/23～3/31
合計	10	20,469	77,008	58,525	34,140	2,577	192,719	
	11	14,467	68,371	61,844	11,888	0	156,570	
	12	14,471	71,495	56,367	32,380	2,592	177,305	
	13	20,632	71,572	52,728	29,807	2,012	176,751	
	14	24,788	67,331	55,140	34,776	0	182,035	
	15	33,231	67,779	51,734	28,658	1,065	182,467	
	16	10,809	54,772	43,085	21,934	0	130,600	
	17	7,599	59,364	55,226	35,880	1,943	160,012	
	18	26,017	69,353	59,727	30,700	891	186,688	
	19	18,750	63,832	52,203	26,930	783	162,498	
	20	12,505	59,837	48,812	20,752	262	142,168	
	21	8,875	48,511	38,029	20,468	300	116,183	
	22	9,753	53,424	45,038	24,365	1,116	133,696	
	23	19,361	57,390	52,060	28,254	454	157,519	
	24	10,491	53,521	49,765	26,757	0	140,534	

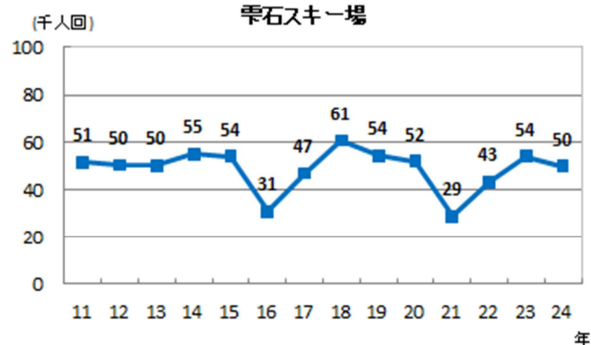
年次別スキー客入込推移(全体)



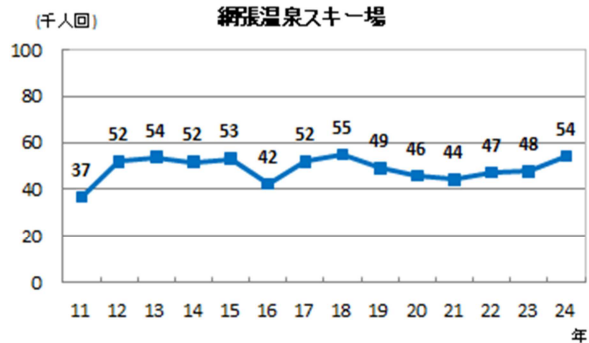
各スキー場の入込割合



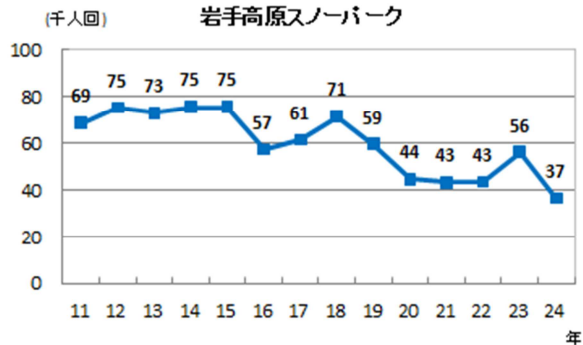
雫石スキー場



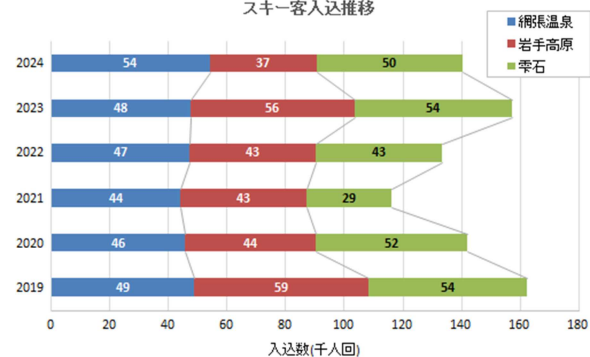
網張温泉スキー場



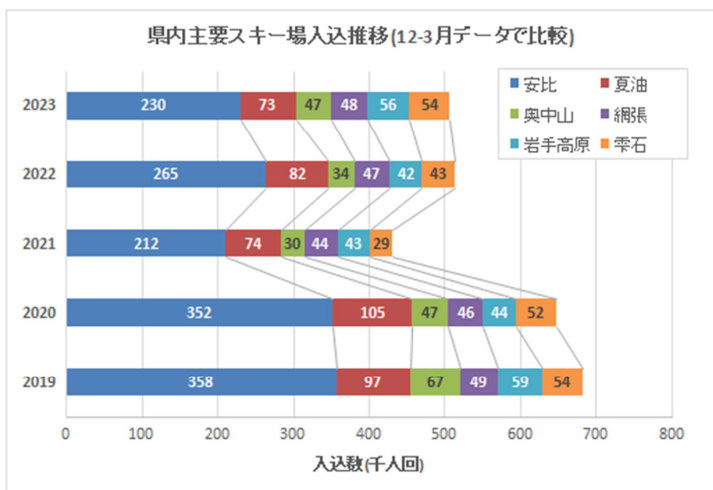
岩手高原スノーパーク



スキー客入込推移

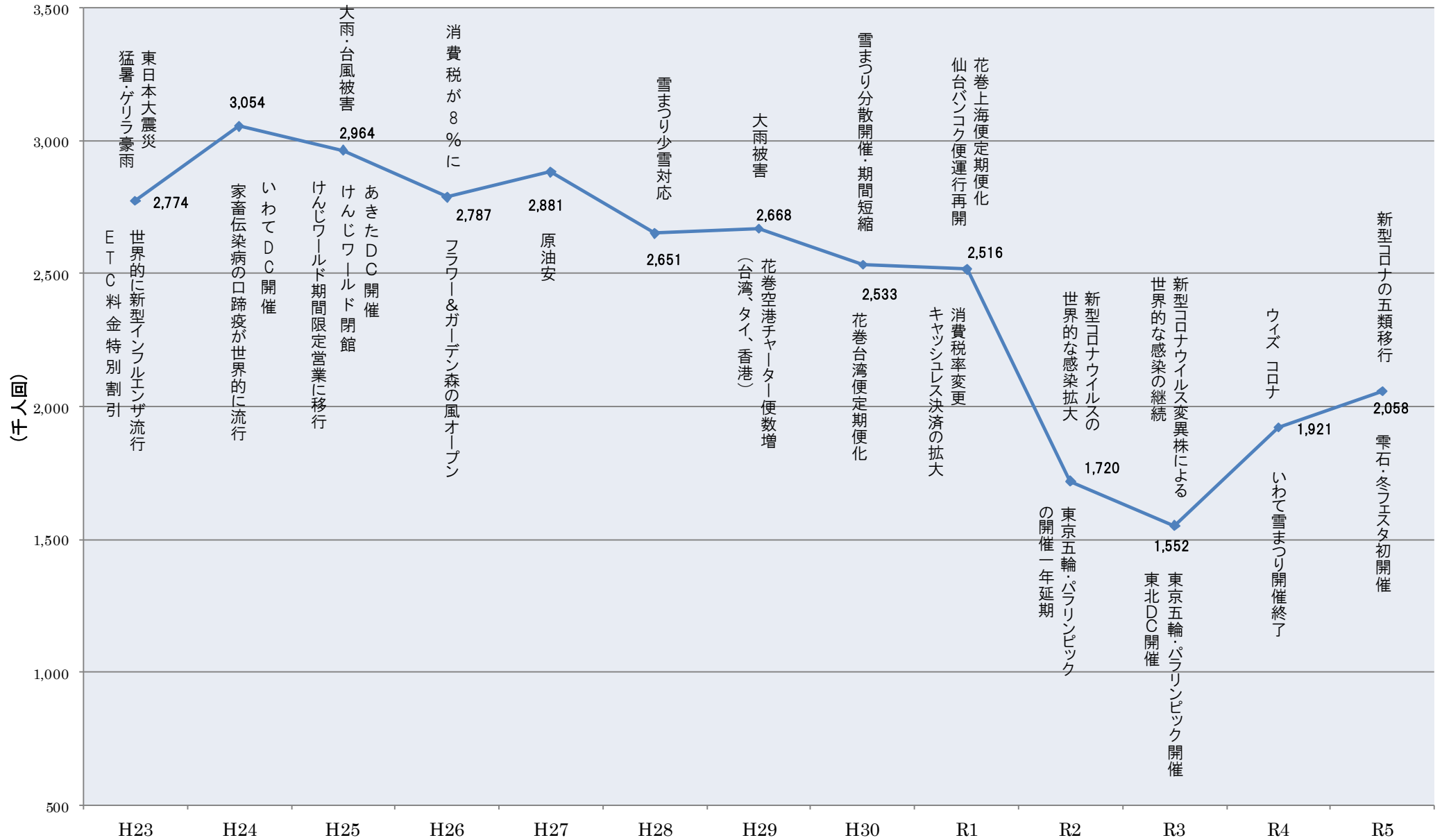


県内主要スキー場入込推移(12-3月データで比較)



出典：県観光統計データ
(今シーズンのデータ公開前のため、2022～2023 シーズンデータまで)

9 雫石町観光レクリエーション客入込数の推移 H23～R5



(参考) 旧基準 (S57~H22 まで)

